



ガバナー提言  
要「人類愛・獅子愛・家族愛」

LIONS CLUB FUKUOKA 2R

No.107

2009 SPRING

## 特集『ライオンズの歴史を知る』

- <その一> L.和田耕司(福岡博愛LC)「福岡フォーラムとライオンズの偉人たち」
- <その二> L.田中恭之助(福岡城東LC)「舞鶴LCと村上薫」
- <その三> L.村田澄雄(福岡城東LC)「緊迫の国際大会(国際会長L.村上薫誕生秘話)」
- <資料> L.貝島義之「福岡クラブ20年をかえりみて」
- <取材を終えて> PR・IT・ザラタ編集委員 L.徳永修一郎(福岡大名LC)「草創期のライオンたち(補足編)」

### ライオンズ座談会「今後のライオンズの問題点」

2R・RC L.小松至誠 / 2R・1Z・ZC L.堀本正 / 2R・2Z・ZC L.重松史郎 / 2R・3Z・ZC L.青木妙子 / 2R・4Z・ZC L.近藤幸成  
PR・IT・ザラタ編集委員 L.徳永修一郎 / YCE委員 L.鹿島紀夫 / 視聴力保護福祉・環境保全・献血・献腎委員 L.松山廣子

YCE派遣生帰国報告 2008-2009 冬期派遣生 松本好弘

次回掲載提言募集!! テーマ「豊かなライオンズ・ライフ」  
愛読者プレゼント!!

緊急レポート「全国ライオンズ若手会員フォーラム」に参加して

第3回 2Rライオンズクラブ会員1,000名アンケート  
意識調査結果報告!

新入会員紹介!  
今回14名入会!(今期累計62名)



contents

巻頭言

2R・3Z・ZC L.青木 妙子 01

特集 『ライオンズの歴史を知る』

〈その一〉 L.和田 耕司(福岡博愛LC) 「福岡フォーラムとライオンズの偉人たち」	02
〈その二〉 L.田中恭之助(福岡城東LC) 「舞鶴LCと村上 薫」	10
〈その三〉 L.村田 澄雄(福岡城東LC) 「緊迫の国際大会(国際会長L.村上 薫誕生秘話)」	12
◇資料◇ L.貝島 義之 「福岡クラブ20年をかえりみて」	13
◇取材を終えて◇ PR・IT・ザラタ編集委員 L.徳永修一郎 「草創期のライオンたち(補足編)」	14

ライオンズ座談会

「今後のライオンズの問題点」

2R・RC L.小松至誠 / 2R・1Z・ZC L.堀本正 / 2R・2Z・ZC L.重松史郎 / 2R・3Z・ZC L.青木妙子 / 2R・4Z・ZC L.近藤幸成  
PR・IT・ザラタ編集委員 L.徳永修一郎 / YCE委員 L.鹿島紀夫  
視聴力保護福祉・環境保全・献血・献腎委員 L.松山廣子

16

337-A地区ライオンズクラブ分布図

21

交流ひろば

福岡西ライオンズクラブに入会して一年 福岡西LC L.山本 早苗	22	環境保全応援アクト 福岡城東LC L.藤村 文彬	27	『福岡文化ライオンズクラブに入会して』 福岡文化LC L.林田 俊二	31
障害者就労施設 いるかワーク・ドックワン支援 福岡北LC L.星川 隆二	22	国内外に向けた未来へと続く21スタイルの奉仕 福岡玄海LC L.二場 安之	27	アミカス日本語クラス支援 福岡大名LC L.岡野 暢徳	32
ライオンズクラブに在籍して 福岡大濠LC L.木村 俊作	23	例会に新風 福岡誠LC L.富永 靖雄	28	結成三年を迎えた福岡平和LCレオクラブ 福岡平和LC L.鷺巢 信男	32
更生保護事業について 福岡黒田LC L.横田 進太	23	幹事として 福岡シニアLC L.永井 光清	28	絆 福岡ベイシティ21LC L.川下 千鶴	33
青少年健全育成コンサート 「世界のTAOと奉仕で奇跡を」 福岡桜LC L.児嶋美希子	24	青少年健全育成チャリティゴルフ大会 福岡花LC L.山道 チエ子	29	「小豆島ライオンズクラブ45周年記念例会に参加して」 若杉福岡LC L.篠崎 久義	33
「ライオンズクラブ変革論」 福岡NOZLC L.鳥谷 哲弘	25	知的障がい者を迎えての新年例会 福岡フィフティールC L.松浦 康道	29	三十年余りを振り返って 巻岐LC L.川上 安孝	34
私の武道体験記 福岡博愛LC L.広田 一孝	25	私のオススメ健康法 福岡鶴城LC L.村田美生子	30	ライオンの仲間となり 花鶴福岡LC L.西牟田弘也	34
「ありがとう、合同例会。勉強になりました!」 福岡大樹LC L.ポプホン柿本	26	感謝の心 福岡筑前LC L.山岡 巖	30	献血奉仕活動 かずや南LC L.大坪 哲朗	35
手作りオークション 福岡舞鶴LC L.橋山 義博	26	初めてのPR誌を作成して 福岡赤坂LC L.山田 修	31	「今年度事業を振り返って」 宗像LC L.水田 雅樹	35

YCE派遣生婦国報告

2008-2009冬期派遣生 松本好弘 36

提言募集!! テーマ「豊かなライオンズ・ライフ」/愛読者プレゼント

37

緊急レポート『全国ライオンズ若手会員フォーラム』に参加して

PR・IT・ザラタ編集委員 L.徳永修一郎 38

第3回 2Rライオンズクラブ会員 1,000名アンケート 意識調査結果報告

42

卓話ゲスト紹介・スケジュール

44

新入会員紹介

46

編集後記

PR・IT・ザラタ編集委員 L.徳永修一郎



## 日本の言葉

2R・3Z・ZC L.青木 妙子

「お疲れさま」「お先きにどうぞ」

相手を思いやる優しい言葉は何気無く使っているのですが、日本の四季の美しさからくるのかもしれないね。

先日の新聞に、画家の絹谷幸二氏は「日頃日本各地を回り絵を描いているとつくづくわが国の自然は世界でもまれに見るほど美しい国だと思う」と書いておられました。まさに比のような自然の中から生れた「ことば」だと思います。

俳句の五・七・五の中にも季語があるように、私達は自然の恵みを知らずく受けているのだと感じています。

先代の方々が作ってこられた美しい日本の「ことば」大事にしていきたいと思っています。

巻頭  
言

特集

# 『ライオンズの歴史を知る』

《その一》 L和田耕司(福岡博愛L.C.)に聞く

## 「福岡フォーラムとライオンズの偉人たち」

平成二十二年一月十九日、ANAクラウンプラザホテル福岡にて



ご存知の方も多いと思いますが、二〇一二年に福岡で「東洋・東南アジア・ライオンズ(オセアル)フォーラム」(以下、福岡フォーラム)の開催が予定されています。この大会は各国持ち回り(日本では七年に一回)で、福岡では三十五年ぶりの開催となります。全国から注目される大会で、これから本格的な準備が始められると思います。そこは『温故知新』。前回の福岡大会がどんな大会だったのか。そして、その当時のライオンたちはどんな人たちだったのか。前回大会の記録映画を製作したことで知られるL和田耕司(74) Ⅱ福岡博愛L.C.Ⅱにお話をうかがった。

### 前回の福岡フォーラム開催の経緯と規模は？

——お忙しいところ、お時間を取っていただき、ありがとうございます。さっそくですが、前回の福岡フォーラムはどんな大会でしたか。

L和田 当時は千七百余名収容の福岡市民会館しかなくて；でも集めなきゃいけないのは六千人ですよ。当時のフォーラムは、もともと福岡での開催はいろんな面で難しかった。でも無理を承知で誘致を決めたのは貝島ガバナーでした。貝島さんがガバナーの時は今と違って、関西から九州まで日本の半分を統括していました。貝島さんがもともと福岡フォーラム大会委員長だったのですが、開催前年に亡くなり副委員長長の杉森さんが代わりに務められました。杉森さんは福岡L.C.初代会長で幹事が貝島さんだったから仲が良かった。貝島さんは福岡商工会議所副会頭も務められた方で、最後は商工会議所で(脳梗塞)

倒れました。

それまでのフォーラムは、マニラ・東京・台北・香港・シンガポールなど開催されたのは首都である大都市ですね。だから会場や食事の問題などいかに無理だった。しかし一九七〇年に大阪万博が開催されて、福岡金子組(現在、未来図建設)の菅原道之さん(福岡フォーラム実行委員・現在、福岡大濠L.C.)が、万博閉会后、ナショナル館のテントを借りて、現在福岡市美術館が建っているところに移設したわけです。当時私は救護部会兼記録宣伝部会だったからかわしいのですが、食事は、ロイヤルに頼んで、イスラム教の方々に配慮しながら作ってもらい(夜中の二時に撮影しましたが)冷凍保存したのです。温かい食事を提供するのには不可能でしたね。

福岡フォーラム当時のキャビネットは、坂田嘉久ガバナーに川原俊夫幹事、仁田辰治会計のコンビでした。川原幹事はこの大会に二億円は拠出したと思いますよ。ふくやの今の会長(元I.Z.Z.C.L川原健)のお父さんで、その後亡くなられましたが、当時は間違いなくガバナーになれる方と思われていましたね。テーマは『海をこえて平和と友情を！』でした。開催前年に亡くなったL貝島義之を偲ぶ『貝島みこし』も福岡舞鶴L.C.が中心に担いでいました。

### フォーラム会場を空撮!!

### 三台のカメラを担いで記録を保存!!

——大会の様様を空から撮影するのにも自費でセスナ機をチャーターされたと聞きましたが、失礼ですが、いくら位かかりましたか。

### これからのライオンズは市民を巻き込むことが課題

——私もそう思っています。和田さんが撮られた映画を観ていても、昔のFCの活動を一般市民の方々が知っていたような気がします。奉仕団体と知ってくれていた。西鉄ライオンズなんて言う人はいなかった。私は今のLC

——私もそう思います。ところで、三十年も前に8ミ映画とカメラで福岡フォーラムの記録を残されていますが、作業は大変だったんでしょね。  
 L和田 8ミ映写機も結構重いし、フィルムは三分しか持たない。今のビデオカメラとは比べ物になりませんね。それで、カメラも三台買って、織田信長の武田騎馬隊に対する三段撃ち（長篠設楽原の戦い）じゃないですが、つなぎ、つなぎ撮ったわけです。しかし、撮ったものが全部いいとは限らないし、市民を巻き込まないと余り意味がないから、市民への街頭インタビューも行いました。フィルムも百本買わんと間に合わなかった。LCの活動は市民を巻き込まなければいけない。これからの課題になりませんかね。

——私もそう思います。ところで、三十年も前に8ミ映画とカメラで福岡フォーラムの記録を残されていますが、作業は大変だったんでしょね。

——私もそう思います。ところで、三十年も前に8ミ映画とカメラで福岡フォーラムの記録を残されていますが、作業は大変だったんでしょね。



当時の映写機でポーズをとるL. 和田



左より坂田ガバナー、マクラクリン国際会長、右端 杉森フォーラム大会委員長



福岡舞鶴LCが中心に「貝島みこし」を担いだ



参加者の貴重品の保管にも充分注意していました



6,000人分の食事をロイヤルが用意した

はもつともつと一般の方々を巻き込むべきだと思うんですが、あまり目立つようなPRをやっていません。

今度のフォーラムが（近年における）福岡市最大のイベントで、一万五千人から二万人が集まると言われていますが、これもただのLCの集まりに終わってしまう気がします。私がお金の問題もあるのですが、LCをもつとPRするためにもテレビCMを放送したらどうかと提案しているんです。「世界中のハンセン病（ライ病）を撲滅した」「盲導犬協会を創った」「売血を献血に変えて、今まで募集活動をやってきた」「世界の視力障害者七千万人を半分に減らした」。こんなLCの活動（の実績をノンライオンは）誰も知らないし、（当事者であるはずの多くの）ライオンも知らない。会員が減っている中で、もつとPRしなければならぬと思えますが、どう思われますか。

L和田 その通りだと思いますね。現在、福岡市はオリンピックでも開こうかという国際都市。フォーラムを開く都市としてはちよいどいい規模になっています。前は六千人の参加でしたが、今回はもつと増えるでしょうから。ただし、一般市民を巻き込んだ一大イベントにするという形にもつていかんと、LCだけのマスターベーションで終わってしまう。

前は昭和五十二年の開催。（前述）テントでの本大会のほか、市民会館で前夜祭を開き、福岡空港前に（記念の）大きな時計塔とライオン像を寄贈した。私たちとしては福岡らしきを出せて、良かったと思っています。しかし、何せ古い話。当時を知っている人も少なくなりました。私は前回の福岡大会以降、日本で開かれたフォーラムでは、仙台、札幌、名古屋が成功したと思っています。彼らも福岡大会を含めていろいろ研究して開催したはずですから、今度はこちらから



L. 和田と空撮に使用されたセスナ機



10,000人を収容できる万博テント

ら資料を要求したらいい。あなた方も一回取材したらいいですよ。

——映画を観る限り、福岡大会は非常に活気があって面白かったですね。

L 和田 本当に面白かったです。だから（面白くするかどうかは）やり方次第だと思いますよ。

### 映画作りにかける情熱とは？ 数々の記録映画を撮影

——そこで提案です。フォーラムを記録したこの映画や和田さんが製作された『L村上国際会長就任式』（一九八一年）などの上映会をP R委員会主催で開きたいと思うのですが、いいでしょうか。著作権もあるでしょうが、これからのL Cを考えるためにも参考になると思うのです。

L 和田 もちろんいいですよ。同時録音もあるし、ミュージックもナレーションも付いている。あとはあなた方が説明すれば、皆さんにもよく分かると思いますよ。

——早速、許可をいただいております。ところで、昭和四十九（一九七四）年にY E映画『若い獅子たち』を製作されています。

L 和田 映画はかなり前から趣味で製作していました。『若い獅子たち』はL C関係での第一号。『L村上国際会長就任式』では、坂田さんを団長に米国アリゾナ州フェニックスまで撮影に行きました。名前は忘れましたが、就任式に現職の大統領（ロナルド・ウィルソン・レーガン）がS Pつきで出席していた

のを覚えています。

——他にはどんな映画を製作されましたか。

L 和田 福岡L Cに進藤一馬市長が在籍されていたころ、福岡市芸術祭の小型映画部門に出品した作品ですが、市の許可を得て、福祉施設の二人の身障者を取り上げた映画があります。これが芸術祭の大賞グランプリを受賞。R K Bからも特別賞をもらい、テレビ放映もされました。でもカメラを回して記録として撮っておくことは多いが、作品にしたのは割に少ない。作品にしたのは、貴重な大会とか大きな行事で、ほかには福岡L C二十周年記念式典などがあります。

### いままでなぜP R委員長をお受けにならなかったのですか？

——でも意外に思うんですが、ライオンズP Rの権化みたいな和田さんがP R委員長などはされていない。なぜですか。

L 和田 「ザラタの編集委員長にならんか」「P R委員長を引き受けてよ」など要請はこれまで何度もありました。でも私は徳永さんがされているような文章を書いたり、インタビューしたりするのが嫌いです。嫌いなことはせん方がいい。

——でも、今年のライオン誌元目号でも交流ひろばに寄稿されています。お上手ではないですか。

L 和田 あれは少し自分のことを書いただけ。私はカメラを回したり、シャッターを押すのが好きで、趣味として、ライオンズの映画などを作っていますが、職権でするのは嫌い。監督とか脚本家とか誰からも束縛を受けず、趣味の延長線上で、好き勝手に写真や映写の技術をボランティアに活かしたいと思っただけです。

——羨ましい限りです。私たちもそうしたいんですが、少なからず束縛を受



福岡空港に時計塔とライオン像を寄贈した



けています（笑）それにしても（貴重な）写真がご自宅にいっぱいあるのではないですか。ライオンズ関係の写真展なんか開かれるおつもりはありませんか。

Ｌ和田 ありませんね。開くとすれば百万円とか二百万円かかりますよ。写真を引き伸ばしたりの作業も大変。だから誰もしないでしょ。昔はライオンズのメンバーですごい写真家もいましたから写真展を開いた人もいますけど。私はあまり宣伝はしない。

——それでも趣味が高じて、これまで結果的にライオンズのPRを一生懸命され、実際に貢献されていますね。

**国際会長就任式では、何万人もの観衆の前でカメラを回しました**

Ｌ和田 私がLCに入会した当時、会員の皆さんは誰も特別な活動はされていなかった。そこで、私は個人で何かライオンズのお役に立てることはないかと考えたんです。年次大会にしても、あの佐藤栄作さんを連れてきて講演会が開かれても誰一人として写真を撮りやらんし、映画を撮りもしない。そこで、私が撮ろうと思った。イベントや周年行事ですね。せつかくいいカメラやフィルムがあるのに、なんで後の世に残さんやらか。二十年、三十年たった後でも見られるものを残そうと思いました。村上薫さんの国際会長就任式も演説する村上さんの真ん前から撮ったし、何万と言う大観衆の表情も撮った。それをコピーして村上さんにプレゼントしたら喜ばれてね。（お礼に）色紙を書いてくれたし、それ以来、親しく話ができるようになりました。

沖縄であったり、佐世保であったり。とにかく年次大会などを撮っておれば、

カメラの中に都はるみや美空ひばり、村田英雄が歌っているのが入ってくる。前回のフォーラムの前夜祭は金井克子でした。だから、もったいないじゃないですか。自分が撮影しておけば、このように（記録として）残る。

——先ほど入会した当時、誰も特別な活動をしていなかったと言われましたが、それに疑問は感じなかったのですか。

Ｌ和田 いや、感じていました。私は昭和四十七（一九七二）年に三十七歳で入会したのですが、当時の福岡LCは瓦林潔さんや進藤一馬さんら政界や福岡商工会議所、経済同友会、九州経済連合会、七社会など経済界の錚々たるメンバーばかりで、ライオンズクラブの歌は歌いましたが、結局は何も活動していませんでした。私はLCは何のクラブ、何の会だろーかと思っていました。しかし、素晴らしい行事はある。有名歌手は来る。だから、もったいないやないですか、記録として残さなければ。

私は二十歳ぐらいから8ミリフィルムを趣味にしており、東京にまで撮影会や研修に行っていました。特に外国に行くときも8ミリはもって行く。アメリカや中国は言うに及ばず、ドイツのライン川下りからアフリカの砂漠での自動車ラリー、エベレスト、インドまで撮影旅行しました。現地の音源を入れ、そして帰国してからRKBやNHKのアナウンサーにアルバイトを頼んでナレーションを加えて作品を作りました。

——LC関係を含め、記録映画は何本ぐらい作られたのですか。

Ｌ和田 そうですね。二千本でしょうね。金額にすれば億じゃないですか。——へえー。二千本ですか。そうすると、それだけの時間とお金をかけて磨いた技術を使って、LCに貢献するために周年行事などを撮られている。改め



グレート貝島の墓前にフォーラム開催を報告する責任者たち



中央、杉森フォーラム大会委員長とL.村上薫



マクラリン国際会長に説明をするL.村上薫



亀井光福岡県知事と握手する坂田ガバナー



左から3人目L.土屋呂武、右端L.和田

て感心しました。

L和田 特に前回の福岡フォーラムの映画作りはある意味、好きで楽しかった。なぜなら当時、まともな会場も何もない福岡での開催です。普通なら先に会場を見に視察団が来るでしょう。私は貝島さんだから（会場施設を持たない福岡に）誘致できたと思います。L貝島、L村上、L坂田は当時、LCにとって天皇的存在でした。そんな素晴らしい方たちが誘致したフォーラムの記録を残せる。確かにNHKもRKBもKBCも取材はしましたが、ちよこつとニュースで流すだけ。始めから終わりまで通しての記録、しかも誰も作らんから作り甲斐がありました。

### グレート貝島の思い出「あなたは活動屋さんか？」

——次のテーマである「ライオンズの偉人たち」に移りたいと思います。元々今回は「ライオンズの歴史を知る」という企画の一環として和田さんに話を伺いしております。ちよつと重複するところがあるかと思いますが、改めて一言、和田さんにとつてのL貝島義之のイメージをお聞かせ下さい。

L和田 初めはライオンズの神様、雲の上の存在と思っていました。九州経済界の大御所で、筑豊御三家の人。私はいつも吉田茂首相とオーバーラップしていました。なぜかと言うと、吉田さんはほとんど足袋、羽織、袴。片や貝島さんもやはり足袋、草履、羽織、袴です。背広姿はあまり見たことない。非常に寄り付きがたい神様みたいな存在でした。

しかし、私はYE映画を作り、各クラブからお申し込みがあれば、写真機かついで、卓話代タダで出かけていましたから（貝島さんがいた）福岡舞鶴LCに

も行ったわけです。ゲストですから貝島さんの隣に座ることになったところ、

貝島さんから「あなたは活動屋さんか」と聞かれました。私は横にいた緒方豊吉さんに尋ねて、活動屋とは職業として映画を作る人の意味だと分かったから、貝島さんに「活動屋じゃありません。ライオンとして趣味でやっています」と答えました。そしたら「あなた偉いね。商売でしよつちやないかね。あなたみたいな人がライオンズにもおらんといかんね。一人で機材を運んで来たかね。あなたは偉い！」と褒めてくれました。それから親しく感じましたね。その貝島さんが村上薫さんを福岡舞鶴LCに連れてきた。

### 国際会長L村上薫の思い出

——その村上さんですが、和田さんは間近に接せられたのですか。

L和田 間近も間近。そのころ日本中に「あの人は京都の人やないか」という噂が広まっていた。それをすぐ気にしてありましたからでしょうか、村上さんは度々福岡舞鶴LCに来られました。その都度、みんなで会合を持ちましたが、一度、西鉄グランドホテルで「紙と硯はないか」と仰るから持つていくと、私の目の前で絵を描いて署名までしてくださいました。うれしかったですね。

——村上さんの元々のお仕事は何ですか。

L和田 茶道家で、茶道協会の役員でした。アメリカとヨーロッパによく行ってあったから英語も堪能でした。余談ですが、国際会長になったときは、茶道界が村上さんを後押しするために二億円出したと聞きましたよ。

## 九州（福岡）ライオンズ二人の創設者、L杉森とL貝島

——次にL杉森司についてお尋ねします。一般にはL貝島が九州でLCを創り育てたとされ、三百人以上のスポンサーをしてグレート貝島という尊称まであります。ところが、その貝島さんが書かれたメッセージによると、実際はドクター杉森が貝島さんをLCに無理やり引き入れたとあります。本当は杉森さんがいて、そこで貝島さんがものすごく世界的に頑張り、その名前が喧伝されたということもありますね。

L和田 入会の経緯などは、貝島さんの言うとおりです。「福岡LC 50年のあゆみ」に掲載された文章（本誌13ページ参照）を読んでいただいたらわかるけど、これは貴重な資料ですよ。貝島さんはめったに文章を書く人じゃないですから、自分が福岡LCを創ったことを書かれたものではないです。

——同じ内容の話和田さんの映画でご本人（L貝島義之）が大きな会場でお話しされるシーンがありました。あれは何の時ですか。

L和田 福岡に佐藤栄作さんと呼んだ時（福岡LC結成20周年記念式典）ですよ。貝島さんと佐藤さんは熊本五高と東大で同級生でいらしたから。だいたい貝島さんは皆さんの前でお話する事も少なかったから貴重な記録だと思います。

——そうすると、杉森さんはどんな方だったんですか。貝島さんを表に出して、ご自分は控えめな方だったということでしょうか。

L和田 そりゃあ、財界という面から見ると、杉森さんは産婦人科のお医者さんで、貝島さんは貝島炭鉱の社長であるし、福岡商工会議所の副会頭。会頭は瓦林さん。福岡LCの初代会長である杉森さんにすれば、貝島さんを引き込み、そして財界を巻き込み、LCを強固にしたかったんでしょう。だからそのあと、第二、第三、第四代と三回続けて貝島さんがクラブの会長を務められています。

## すべての会員の『ルーツ』はL貝島義之？

——話は少し飛びますが、私には一つの仮説があります。現行の会員のスポンサーの系譜を辿っていけば、極端な話、すべてL貝島に行きつくのではという事です。五千人が一人の人間のご縁で集まる。素晴らしいことです。私はキャピネットにその系譜を作ること提案しています。

L和田 貝島さんが（九州ライオンズの）ルーツですよ。やはり自分の先祖を知るといいことではないですか。昔『ルーツ』という映画もありました。こんな話もあります。戦後、マッカーサーが日本の軍国主義を民主主義に変えるため、LCやJC（青年会議所）を持ち込んだ。だから、東京LCのスポンサーはマニラクラブだと。そして福岡LCは商工会議所の議員さん達がそのまま移籍してきた感じでした。まあ、貝島さんも杉森さんに口説かれた当初はそれほどでもなかったが、アメリカに行くようになって、だんだんのめり込み、ついに『ライオンズ屋さん』になったということでしょうか。

## L土屋呂武、L坂田嘉久、L緒方豊吉、三人の偉人たち

——次はL土屋呂武です。どんな方でしょうか。

L和田 福岡LC所属の方で、会長、ZC、RCからガバナーになり、運よく国際理事にもなられました。とにかく、名門の出ですよ。九大医学部を出て、教授にもなり、済生会病院の院長までした。私が知る限り、今までのガバナーと国際理事の中では一番スピーチが格調高くて、うまかったですね。そして、マザーテレサに傾倒されて、自分で病院を造られた時、マザーテレサ病院と名づけられたくらいです。『ライオンズもマザーテレサのようにならないか』とよく言われていました。何回もマザーテレサに会いに行かれたのではないですか。

——それから前回のフォーラムの時のガバナー、L坂田嘉久はどんな方ですか。えらく怖かったと聞いたことがあります。

L和田 あの方は職業はセメント屋。私と福岡西LCで一緒に役員をやった仲間でもあります。とにかく個性の強い人で、後に福岡玄海LCに転籍しました。福岡玄海LCでは秦ガバナー誕生に尽力していました。秦三郎さんにとつて、坂田さんは親父みたいな存在でしょうか。とにかく福岡フォーラムの時のガバナーで、成功させた功績は大きい。当時の権力というか実力というか、それこそ大阪あたりまで鳴り響いていました。

——いわゆる親分肌でしょうか。同じように親分肌といわれたL緒方豊吉はどんな方ですか。

L和田 緒方さんは独特な知性、インテリジェンスを感じさせる方。盲導犬育成事業で頑張られました。私も盲導犬の贈呈式など随分、写真を撮りましたし「ガバナーになる気はないのですか」と尋ねたこともあるほどです。髭を生



やして、杖をついて。しゃべり方も独特でね、とにかくオシャレな人でした。福岡舞鶴LCの二十五周年記念式典でもクラブを代表して挨拶したのは緒方さんだけ。『舞鶴のドン』という感じで、ああいう人はもう出てこないと思うくらい個性的で、ハイカラでした。

——もう少し人物についてご感想をうかがいたいと思います。役員さんではありませんが、深見俊次さんはどんな方ですか。バンドマンで、なべプロ（渡辺プロダクション）の福岡の責任者と聞いています。

Ｌ和田 私が見つけたのはキャバレー『月世界』におられたときです。その後、LCに入られました。確か貝島さんが佐藤栄作さんを福岡に連れてきたころだと思えます。興行主をよく知っておられて、LCの周年行事や年次大会のイベントで歌手呼んでできた場合でも、おかげでバンドは地元で確保できる。だから村田英雄さん呼んでも体一つで来ればいい。実費で済むわけです。いろいろ頑張られたと思います。

### 組織運営について「リジョン顧問会の存在」

——ありがとうございます。九州LCの草創期ともいえる時期の方々について、随分勉強させていただきました。ついでは何ですが、せっかく大先輩から話を伺える機会ですから、次に少し組織論と言いますか、リジョンの運営についてご意見をお聞きしたいと思います。組織論で言えば、リジョン会はリジョンに於ける最終意思決定機関のほうですが、私はほとんど機能してないと思っています。それはなぜかと言いますと、会長さん方はどなたも余り発言されませんし、名譽顧問とか、RCとか、ZCとか、地区委員が「こうしますよ」「どうですか」「やりますよ」と言えば、ほとんど言っていないほどの答えもなく終わってしまう場面が多い。また別にリジョンに顧問会があって、顧問会の意思が往々にしているんな局面で働く耳にしています。地区名誉顧問会とリジョン顧問会とは別のものだと思うのですが、元々どうしてリジョンに顧問会があるのですか。

Ｌ和田 元々は4Rから分かれて7Rができた時、初代のRCになった秦さんが地区役員を選ぶのに、クラブ任せでは誰を選んでいいかわからないだろうから長い経験と実績のある人たちが顧問会を作ろうと発案し、各クラブが承認したものです。メンバーはガバナーをはじめとするキャビネット三役、RCの各卒業業者です。招集は現役のRCが行い、主に地区役員人事を考えるための組織です。会則もある。その辺は秦さんに聞くとよく分かりますよ。

——私はこのリジョン顧問会がほとんどの重要事項を最終的に決定しており、リジョン会は実質的には追認機関にすぎないと思っています。

Ｌ和田 必ずしもそうではないと思いますよ。少なくともここ何年かは違う。リジョン顧問会でガバナー候補が決まらず、実際に年次大会でガバナー候補の選挙があった年もあったでしょ。それでいいと思います。私はリジョン顧問会もそれなりの役割があると思っています。

### 「唱和会」と「ライオンズ青年アカデミー」

#### 人材育成の必要性

——次に、私は組織的にライオンズの若い会員が発言する場がありません。もっと自由に討議し、地区に意見を反映させられるような組織を作らないと、会員は増えない。もっと人材教育をして、ライオンズの楽しさを理解しなければいけないと思います。そのための一つの手段として青年部を作ったらと思いい、年次大会に議案を提出しようと思っています。どう思われますか。

Ｌ和田 時代は違うけど、私が福岡LCにいた時、自分には場違いと思い、辞めようと思ったことがあります。その時、ある人のアイデアで、昭和生まれの会員が全員参加する「唱和会」ができた。当時は明治、大正生まれの方がクラブを牛耳っていたから、「唱和会」は逆にまとまりましたね。私もその三代目の会長になって（クラブを）辞められなくなりました。そして、結果的に「唱和会」だったメンバーが現在に残っています。この話は単一クラブの中の話ですが、地区にも「明日のLCを考える会」などがあつたのではありませんか。

——この数年はないですね。私は今後そういうものができるかどうかは分かりませんが、青年部が設立されれば、ぜひ先輩方にはご意見番として歴史とかプロトコルの話をしていただきたいですね。

Ｌ和田 これまでの「ガバナーを称える会」などでは、日本的にも素晴らしいライオンがゲストで来て、喋っていました。今はそれがいい。そんなことも

考えた方がいい。また、これだけLCIFを集めているのに、なぜ国際会長を日本から出せないのかも考えなければいかん。

——日本では「あの人は英語が話せないからダメ」とか足の引つ張り合いがあると聞いています。もっとまとまって行動しなければ、何時までたっても国際会長は出せない。また人材の育成を考えねばならない。役員さんの若返りも課題と思っています。

——L和田 三十代、四十代で（クラブの）会長をしてほしいね。そうしないと、その上の役員に就けない。そして、早くガバナリーになってほしい。国際理事でも国際会長でもその次の話ですからね。L村上が国際会長になったのは六十一歳のとき。いかに早くからLCの役に就いていたかがわかるでしょう。それに貝島さんという強力な人が後ろにいるときの運もあつた。

### クラブ合併は障害が多いですね。 一番大事なことは例会出席率じゃないでしょうか？

——話はまた飛びますが、和田さんにとってLCとは何ですか。在籍されて良かったですか。

——L和田 そりあー、良かったですよ。私にとってLCは癒しです。温めてくれる湯たんぽ、人生を励ましてくれるものです。会員はみんなそれぞれ事業を展開しており、疲れている。集うことで癒され、そして、楽しくなる。そうすると辞めないんです。そういうクラブ作りをしなければいけない。新しく入ってきた人に、先輩たちが声をかける。これがいいんです。

——最後にりますが、ミニクラブ化に対する私の懸念についてお尋ねします。このままだとミニクラブ化は間違いなく進む。そうすると、年配の方が多くて、若い人が少なくなる。逆三角形の状態になって、組織的には発展しない。そうすると、私の好きなLCに陰りが出る。私はクラブを再編成していかないと、十何人、二十人、三十人のクラブでは、せつかく新しく入会しても馴染む前に面白くなく、辞めていく。単一クラブの人数が一定ラインを超えないと、地区全体も発展しないと思います。そのためには一対一の合併は歴史やアクティビティの問題などいろいろ弊害もあり難しいから、全く白紙の状態、ゼロの歴史から、つまり「ゼロ同士」で合併してはと思っています。極端な話ですが、昔の福岡舞鶴LCのように二百人を超すクラブを作りたいと思っっているのです。今会員数が百七十人を超えると日本一のクラブです。メンバーに、夢も

希望も与えられる事でしょう。これについては、どう思われますか。無理な話でしょうか。

——L和田 私も昔はクラブを強くするために合併もいいかな、と考えていました。しかし、実際やろうとするとこれが非常に難しい。私のクラブの場合は想定していた相手クラブと合併委員会を作って、三回まで話し合いましたが、四回目で決裂しました。決裂した主な理由は一方が相手に（完全に跡形もなく）飲み込まれてしまうという懸念でした。私はリジョンやゾーンの合併や移動はやりやすいが、クラブの合併は難しいと思っています。昔の福岡舞鶴LCのように、百人も二百人もいた方がいいのはいいが、今は、ミニクラブ化を防ぐのに、一番大事なことは（例会の）出席率だと思います。今、うちは九八・五%ですよ。うれしいですよ。出席率がいいクラブは楽しいし、第一、風通しがいい。クラブとしてイベントに参加するにしても「行って、行って」と言わんでいいでしょ。理事会や例会の承認事項なんかもちんちんと全会員に知らせること。地道な取り組みが一番大切だと思います。

——合併の推進については、残念ながら賛同していただけませんでした。それにも増して貴重なお話をたくさん聞かせていただきました。本当に長時間にわたりお付き合いいただき、ありがとうございます。本日お聞かせいただいた話を活かし、今後ともLCのさらなる活性化に微力を尽くすつもりです。ご指導よろしくお願いたします。ありがとうございます。

——聞き手は地区PR・IT・ザラタ編集委員L徳永修一郎（福岡大名LC）



L.和田が福岡西LC幹事の時に作成した100ページを超える「年間幹事報告書」。クラブの概要に始まり、豊富な写真（アルバム）、予算書、理事会議案、幹事報告、アクティビティの記録等…そのライオンズにかけた情熱には脱帽する

## 舞鶴 LC と村上薫

まいづる号 No.83(平成10年10月発行)より再掲

— (19日頃) 私から無論連絡致します。

18日の夕は白のタキシードで日本のガバナー各位も列席下さいますので当然わがクラブからも代表の方がご出席下さるようお願い致します。経費は私の負担です。

尚話しは別件ですが、この間小倉で話していたのですが、今後福岡舞鶴LCから誰かキャビネット役員に入ってもらいたいのです。これは皆様から申しにくいかと存じますので私か、又話しをする適当な人があれば致しますのでご遠慮なく申伝え下さい。

では、明朝5時出発してオスローです。

17日夕、

薫

色々ご高配お礼万々致します。

6月18日午後6時から、モンテリオールのクウインエリザベスホテルのギャラリー4号室でのPartyの券10枚お届けします。これは決して10人ということではありませんので、皆様お誘いの上沢山お出かけ下さい。国際理事の各位をご紹介致します。小生只今から渡米、5月28日帰国、6月5日メキシコ、アメリカ、カナダと出向きます。よろしく。

5月12日

薫

※舞鶴LCの特別委員会では、L村上から国際理事への土産物の選定と費用のことで論議が出て、クラブ幹事の問い合わせした返事の2通です。結果的には博多の舞扇に決定した記憶があります。用箋には第3副会長所属が Kyoto Japan になっていてL村上の気配りが忍ばれました。

#### 〈第61回東京国際大会前夜〉

「イチャモンつける奴はたたき切っちゃる…」特徴ある博多弁を残し乍ら、時の地区ガバナーL坂田は東京に出発しました。L村上を第3副会長に推挙する日本ライオンズは大きく二つに別れ、糸のもつれに纏わる信じられない憶測が飛び交い、L村上の身辺不安さえ話題になる状況でありました。

私はキャビネットに呼ばれ「ホストクラブとして、L村上の身辺セキュリティをするため元気のいいライオンを数人選挙本部のおかれる東京帝国ホテルに派遣するよう」要請されました

が、現時点では信じられない事実でした。表沙汰にならないよう無理なお願いをした添田豊喜、矢野豊、村田澄雄、豊嶋和義4人のご協力は今でも感謝している所です。任務を果たした彼等の話しでは、国際会長選挙の生々しい人間模様の渦の中で、L村上の心身ストレスは計り知れないものがあつたようです。

#### 〈貝島と村上・余聞〉

1960-61年の302W地区ガバナーに貝島義之が就任しています。日本ライオンズが2地区しかない時代で、ガバナー貝島は京都に公式訪問した折りの話しを後日聞かしてくれました。「京都に行った時よう口の立つ、英語のうまか若いのがいたが…あれが村上薫たい」、1962年村上はライオンズ必携日本語版作成の功によって国際協会会長賞を受賞しているし、数々の関係翻訳書を出していました。マニラフォーラムでの、マルコス大統領を前に行った村上の英語スピーチは実に堂々たるものであつたのを記憶しています。

福岡の地に来る機会が多くなり京都育ちで茶道人の村上には、聞き慣れない博多弁はいくらか耳障りなこともあつたでしょう。齒に衣着せぬ早口言葉に不満に似たボヤキを耳にしたことがあります。ただ、貝島に対する敬意は格段のものがあつた貝島の遺影を掲げた1997年第16回東洋東南アジアフォーラムでは「…広い大通りをまわり、ここにこうしてこの木を植えるのだとそれはそれは情熱をたぎらせて語られた。寒風の吹きすさむ福岡の地で、あのマント姿の貝島ライオンの熱気が私の耳底に活きている…」貝島を畏敬する村上の言葉はその後も続いています。

#### 〈おわりに〉

歳月は人を待たずの言葉どおりつい先程の事かと思つているうちに、L村上に逝かれてもう15年余の年を数えます。舞鶴LC25周年記念大会が国際会長出席という未曾有の形で盛大に開催されました。遠くから村上未亡人を拝見しながら感慨深いものを覚えたのは私だけではないでしょう。

舞鶴LC小林元ZCの指名を受け、国際会長ホストクラブ幹事が経験した亡き村上国際会長の手紙と思い出を綴ってみました。(平成10年3月)



より、L田中に



## 《その二》L.田中恭之助(福岡城東 LC)

# 舞鶴LCと村上薫

### 〈はじめに〉

1977年2月の舞鶴LC例会は、京都LC会員十数人にエスコートされたL村上薫を迎え、日本だけでなく東洋東南アジアライオンズの悲願であった国際会長就任を目指すスタートの日になりました。前年の昭和51年7月舞鶴LC創立会長そして九州ライオンズ育ての親L貝島義之を失い、彼の遺志を引き継ぎわが国初めてのライオンズ国際会長ホームクラブへの運命的な旅立ちでもありました。五色豆のおみやげを頂戴したのが昨日のようです。

### 〈舞鶴LCとL村上薫〉

複合地区から同時に国際理事を選出できない協会規則を承知で派生した糸のモツレは、その後国際会長任期全うまでL村上の重いしがらみになりました。当時の舞鶴LCは急遽次期会長予定であったL緒方豊吉を地区ZCに、L伊藤伝之祐を次期会長、L磯田博を次期幹事とし、迫り来る東洋東南アジアフォーラムと併せてわが国初の国際会長誕生へのクラブ態勢をとりました。国際親善大使L貝島が誇った265会員の意気込みはまさに壮観であったと言えます。

1981年6月、第64回国際大会(フェニックス)で国際会長に選出され、任期終了の翌1982年7月までL村上は舞鶴LCに所属していますが、8月には元の京都LCに再転籍しました。その後まもなく過労のせいか健康を害され京都市桂病院に入院しています。

病床から舞鶴LC宛の手紙は「まいづる15周年記念特別号」に掲載されていますが一部を引用しておきます。「たとえクラブ員を離れましても私の心はいつまでも皆様と共にあります。どうかこの国際協会会長の旗をいつまでもご保存下さい。それは私の心であり、世界の全体が福岡舞鶴ライオンズクラブに贈る感謝の旗なのであります…」、舞鶴LCに在籍したL村上の5

年余は否応なしに舞鶴LCの名前を国際舞台に押し上げる結果ともなりました。

1982年11月7日こんなに早く訃報に接するとは誰も予想しませんでした。L村上はL三野原の言葉によると「卒然として逝く」享年64才の別れになってしまいました。

まだまだ鮮烈な記憶の中にあると思っていたL村上と舞鶴LCの出来事も、15年の歳月の流れは容赦なく忘却の淵に追いやって行きます。時代の違いこそあれ舞鶴LCの船に乗り合わせた私達にとっては、形式的記録に留まらず国際会長村上を囲んで咲いた話しの数々を、身近なメモリーとして残しておくのも無意味ではないと考え筆をとりました。世界各地を訪問した折り送って頂いたL村上の絵葉書など探し出せないものは致し方ないとしても、手許にあるモントリオール国際大会からの手紙は彼の心優しい舞鶴LCへの気配りが感じられ、今にして読み返しながら涙を拭き取るありさまです。

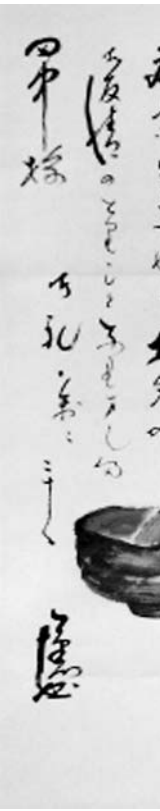
### 〈L村上の手紙・1979年6月第62回モントリオール国際大会〉

先日は失礼致しました。折角のチャンスでしたのにゆっくりお話しもできません、お許しください。さて、ホストクラブとしての土産色々ご研究下さいまして申訳ありません。ご友情殊のほか嬉しく存じます。

国際理事に対する全世界よりの贈り物は色々あります。スイス時計の様なものから本棚など千差です。70個位です。適当なものをお考え下されば幸いです。英文は

WITH THE COMPLEMENTS OF  
FUKUOKA-MAIZURU LC  
-HOME CLUB OF 3RD VICE  
PRESIDENT. kaoru" kay"  
murakami-

そして、そのpresentの日は6月18日午後6-7時までか、あるいは国際理事会の昼食会の日



村上薫国際会長贈られた書

## 《その三》 L村田澄雄（福岡城東LC）に聞く

# 「緊迫の国際大会（国際会長L村上薫誕生秘話）」

日本が輩出した唯一の国際会長、L村上薫（故人）は、一九七八（昭和五三）年六月の第六一回世界大会（東京）で第三副会長に選出され、三年後の会長就任を勝ち取った。しかし、世界大会は『反村上』派の不穏な動きも噂され、所属する福岡舞鶴LCから警護要員が派遣されるほどだった。警護要員の一人だったL村田澄雄（74）＝現在、福岡城東LC＝に「緊迫の世界大会」を振り返り、間近に見た「L村上」の印象について語ってもらった。

世界大会での選挙に備え、村上さんは帝国ホテルに選挙対策本部を設けていましたが、私はず驚いたのは、取ってもらった私の部屋が村上さんのすぐ隣で、今でもはつきりと金額を覚えていますが、一泊で三万六千円もする部屋だったことです。警護はそれほど徹底したものでした。第三副会長選挙とは言っても、国際第三副会長に選ばれば、あとはトコロテン式に国際第二副会長、国際第一副会長、そして国際会長と昇格していくわけだから、事実上の「国際会長選挙」です。当時、日本ライオンズの中には「村上を潰せ」という反対論もあって、信じられないような憶測も飛び交っていました。地区方バナー・L坂田嘉久が「いちゃもんつける奴は叩き切っちゃる」と語ったという話は有名ですが、そんな厳しい雰囲気は確かにありました。

私は一九七七（昭和五二）年に四十二歳で福岡舞鶴LCに入会しました。クラブで二番目に若く、元気がよかったことからクラブ幹事のL田中恭之助に警護役を頼まれたと思いますが、「誰かそばに付いていないと、村上さんが命を狙われるかもしれない。とにかく用心するに越したことはない」ということで、世界大会の四、五日前に上京しました。

今では想像もできませんし、正直に言って「ライオンズクラブの役員選挙でこんなことがあつていいものか」と疑問も感じましたが、実際に村上さんをめちゃくちゃに誹謗中傷する怪文書が三枚も出回るほどで、『反村上』の険悪なムードを肌で感じ、私たちは食事の時も村上

さんに付いて回りました。確かフォードでしたが、移動の車でも村上さんが助手席に乗るのです。普通は偉い人が後ろの座席に乗るでしょう。ところが「後ろの席は鉄砲で狙われるかも知れない」と、（影武者代わりで）私が後部座席に乗るのです。大会当日は会場（日本武道館）に不審物はないか、挙動不審な者はいないかと（天井裏まで登り）入念に巡回したものです。私はホストクラブのガードマンとして来ているのだから「何かあったら、責任がある」と、本当に真剣に警護したことを覚えています。

選挙運動もすごかった。帝国ホテルは世界中の代議員で貸し切り状態。私も初めて人の多さに酔ったほどでした。村上さんは国際理事もされており、既に顔は売っていたのですが、それでも朝の九時から夜の九時まで代議員の部屋を手土産持って回られました。何せ世界百二十五カ国が相手。お土産作りでも学生アルバイトを三人雇ったほどです。その代わり、外人から貰う手土産はジョニ黒ばかりでしたが…

とにかくすごい選挙でした。信じられないことばかりで、当時のことを本に書いたら間違いない、ベストセラーになると思いますよ（笑）

村上さんは元々京都LCの所属でしたが、国際会長を目指すために、その前年に九州ライオンズの神様「L貝島義之がいた福岡舞鶴LCに転籍されました。度々お会いする機会がありました。特に、第三副会長になられた後、クリスマス例会に参加して家族歌合戦の審査員を務められた時、決勝に残った私たち家族に「今度は私があなたを守ります」と冗談で仰ったこともありましたが、敵も多かったと聞いていますが、私にはよくしていただきました。

本当に優秀な方で、話をしているだけでも世界情勢や社会情勢をよく知っておられる。ライオンズ必携の日本語版を作ったことでも知られるように、英語も堪能で、四カ国語話せる。体も大きく、教養もある。私には男が惚れるタイプというか、器の大きい人でした。国際会長を務めたあと、一九八二（昭和五七）年八月に京都LCに再転籍され、まもなく亡くなられました。六十四歳の若さでした。LCにとつて本当に惜しい方を亡くしたと残念でなりません。

＝福岡舞鶴LC PR・IT・ザラタ編集委員長・L橋山義博が聞き書きしました。





元ガバナー国際親善大使

L 貝 島 義 之

## 福岡クラブ20年をかえりみて

福岡クラブの20周年を迎えるに当り、まず思い起すのはその誕生のいきさつであります。当時の神戸の岡部ガバナーおよび比島のバレンネンゴア2人が突然栄や旅館にやって来て、栄やの主人倉成敬次郎にライオンズクラブを作るから適当な人を集めてくれと言ったのがきっかけとなり、まず第一に私の所へ連絡がありました。

「オオゴトができた。すぐ来て話を聞いてくれ」とのこと、親友のこと故行ってみると、アクティビティとか、奉仕とか、世界大会とかいっているが、杉森氏も私もピンとこず訳がわからない。「西鉄ライオンズの応援団ならわかるが、国際ライオンズなんかそげなものはせからしか、やめとけ」特に私は当時石炭不況で、「組合もうるさか、あたしゃせんバイ」と断ったのですが、何度も神戸からは来る、親友の倉成は栄やの大事なお客だから助けてくれと電話する。再三泣きつかれるので仕方なく、親友である当時の福銀頭取永江真郷氏に相談したら消極論、西鉄の野中社長に相談したら「そりゃ面白い、やれやれ俺もはいるバイ」という。それでも私は踏み切れず放つたらかしていたところ、杉森君が、岡部ルート以外の神戸のお医者仲間からハッパをかけられ見切り発車、杉森会長、第一副会長貝島義之と印刷して会員募集を始めた事を、勧誘を受けた人から聞いてびっくり。

観念せざるを得ない立場に追い込まれた私は、それからは脱兎の如く蛮勇を奮って会員獲得に毎日毎日東奔西走、またたく間に50人ばかり会員を集めた。ところが、この年が丁度世界中の会員獲得コンクールの年に当たっていたため、マイアミでの世界大会で私が世界一となり、表彰するから出席せよという。私はよくわからないので、その時の日本のガバナーであった大阪の進藤氏に行ってもらったところ、あのさん然たるトロフィーと、いつも福岡クラブの例会に飾ってある世界一と書いてある旗、および10万円の賞金を貰ったわけです。

爾来、ライオンズに取りつかれ、昨年で300人会員増強の世界でも前人未踏のレコードを作りバルボ会長がわざわざ福岡に来て勲章をくれた

これ全く見切り発車させた杉森氏のお陰で、20年前と今日の隆盛を思うと全く夢のようです。今後ますます蛮勇を奮って昭和53年の日本での世界大会迄には350人の会員を作り世界中誰も破れぬレコードを作りたい。

今年の世界大会でも村上国際理事が世界中の偉い会長、理事諸君に私のレコードを自慢して日本の誇りにしている由……馬鹿は死ななきゃなおらない。「ハハ……」。

◇資料◇

L 貝島義之

「福岡クラブ20年をかえりみて」

福岡ライオンズクラブ50年のあゆみより再掲

# ◇取材を終えて◇ 「草創期のライオンたち(補足編)」

PR・IT・ザラタ編集委員 L徳永修一郎(福岡大名LC)

今回の特集は「東洋・東南アジア・フォーラム」の三十五年ぶりの福岡開催に向けて、前回「福岡フォーラム(一九七七年十月開催)」の歴史を学び、その前後の九州ライオンズ草創期に活躍されたライオン群像について知識を深めるために企画しました。インタビュにに応じていただいたL和田とL村田には貴重な話をたくさん聞かせていただき、そのライオンズ人生にかける情熱に私自身大いに感動を覚えました。L田中には「まいづる号N・83」寄稿文の再掲に快く応じていただきました。改めて深く感謝申し上げます。三人の方々のおかげで、九州ライオンズの歩みをより鮮明に知ることができたと思っております。ありがとうございます。

せっかくの機会ですから、私も今回先輩方が様々なエピソードを交えて語られたライオンとその周辺の方々について、文献や資料で学び、確認したことを少し補足させていただきますと思います。

まず、L杉森司(一九六九—一九七〇\*302W—F地区ガバナー、医師)は、後に九州ライオンズの生みの親、育ての親と賞賛されたL貝島義之(一九六〇—一九六一\*302—W地区ガバナー)を巻き込み、九州にライオンズの光を大きく灯した功労者。前回の福岡フォーラムを記録したL和田の映画「海をこえて平和と友情を!」にも大会実行委員長として登場しておられます。映画の最後で、フォーラム成功を悲願としながらその前年に逝去されたL貝島に語りかけた肉声も残っており、その言葉は印象深いものでした。

L坂田嘉久(一九七七—一九七八\*302W—F地区ガバナー、同フォーラム実行委員長、大輝興産など多くの会社を経営)の座右の銘は「信義」。郷土出身で三井鉱山の経営で著名な團琢磨(三井財閥総帥。血盟団により暗殺される)を尊敬し、強い義侠心とエネルギーを駆使して周囲を圧倒したと伝えられています。

中洲で生まれ育ち、生粋の博多っ子として知られるL土屋呂武(一九八六—一九八七\*337—A地区ガバナー、一九九二—一九九四\*国際理事、済生会福岡総合病院院長)は、現在にいたるまで337—A地区から選出された唯一の国際理事です。戦時中、海軍軍医として従軍した石垣島で、猛威をふるうマラリアに対処するため、全島の官民を動員して森林や沼の伐採を敢行。よって蚊の絶滅を図って軍に称賛された武勇伝もあります。

今回のインタビュ等ではお名前が出てきませんでしたが、「無尽の神様」と称され、西日本相互銀行や正金相互銀行を立ち上げたL鶴喜代二(福岡商工会議所副会長など歴任)の存在も決して忘れることはできません。L鶴と彼を「おやじ」と慕うL緒方豊吉(貝島炭鉱や正金相互銀行に勤め、晩年には福岡流通センターを建設)の名コンビは九州地区の盲導犬協会設立に絶大な力を発揮します。

九経連会長や福岡商工会議所会頭を歴任し、「財界の総帥」とも呼ばれたL瓦林潔(当時、九州電力社長)を口説き落とし、九州電力に糸島の土地を盲導犬訓練センター建設用地として提供させたL鶴。一方、文武に秀でて強者に対して激烈な闘争心を秘めていたL緒方はL鶴の依頼に応じる形で、九州電力を中心とする七社会に働きかけ、総額七千万円とも八千万円ともいわれる建設費を募ることに成功したと言われています。福岡の政財界を巻き込んだお二人の絶妙な連携プレーが無ければ、盲導犬協会は誕生していなかったかも知れません。アクティビティの歴史の中でも特筆すべき功績ではないかと思つています。

いよいよL村上薫です。ご存知の通り、日本が生んだ、アジア初の国際会長ですが、その道のりは生半可なことではなかったようです。現在も日本から二人目の国際会長を送り出すことが悲願であり、先般、決意も新たに国際会長を目指していたL福井正憲が志半ばで頓挫した例を見てもいかに大変かが分かるというものです。

そのL村上は京都府出身。清和源氏につながる家系とされ、新聞社から京都市職員へ転身し、戦後、連合国総司令部(GHQ)の推薦で渡米した時、初めてLCの存在を知ります。帰国後、茶道裏千家淡交会の初代事務局長に招かれ、京都LCに入会。持前の語学力を生かして「ライオンズ必携」日本語版を作成しました。再渡米した時にシカゴの国際本部でLCの創立者、メルビン・ジョーンズに出会い深い感銘を受け、国際会長への意欲に目覚めたといわれています。一九七五年に国際理事に選出されると、乞われるままに世界を歴訪。その旅程は地球二周半に及び、ライオンズムを説く「行動の人」と呼ばれました。しかし、それだけでは国際会長への道は開けません。大阪に強力な対抗馬がいたからです。そこで、L村上は当時、全国でも屈指の勢力と影響力を誇っていたL貝島の勧めで、一九七七年福岡舞鶴LCに転籍。L貝島らの全面的なバックアップを得て、国内で



L. 杉 森 司



L. 坂 田 嘉 久



L. 土 屋 呂 武



L. 鶴 喜 代 二



L. 緒 方 豊 吉



L. 村 上 薫



L. 貝 島 義 之

の国際会長レースに踏み止まり、ついに翌年、国際第三副会長選挙に勝利。一九八一年に念願の国際会長に就任するのです。国際会長の一年間、地球を三十二回半回るほどの激務をこなし、第六十五回国際大会年次報告を終えてから百日余後、「卒然」として、六十四年の生涯を閉じられました。

L村上のライオンズ人生を象徴するエピソードが残っています。ある人に「あなたの休まれるのはどこか」と問われた時、次のように答えられたそうです。「私はいつも靴の上にいる」。

また、国際会長テーマ『ピープル・アット・ピース（みんなで築こう和の社会）』の下、平和を希求する強い意志を示す言葉も残っています。

「水も空気も人間が創ることは出来ません。神が与えてくれたものです。だが、平和は人間のみが作り出すものであるにもかかわらず、こんなに少ないではないか。今なお人間が人間同士、生命を奪い合っているではないか。こんなばかげたことがあるでしょうか。私はいきどおりをもって現代に抗議する」。国際会長を終えた後の一九八二年、国連平和賞を受賞されたのは当然と言えは当然。まさに「ライオンズに命を捧げた」人生と言っても過言ではなく、その功績は永遠に称えられるでしょう。

最後は、村上国際会長の事実上の「生みの親」とされるL貝島についてです。

一九五二年に我が国にライオンズ活動が到来。その三年後にスタートした九州（福岡）ライオンズの事実上の創始者として知られていますが、そのバックボーンは貝島財閥。創始者の貝島太助氏は一介の貧農から石炭採掘に乗り出し、九州を代表する炭鉱財閥に育てた傑物。飯塚の大庄屋であった麻生太吉氏に石炭採掘を教授したとも言われています。そして、貝島家は後に日産コンツェルンの鮎川義介氏と閥閥を形成し、安川、麻生と並ぶ『筑豊御三家』となるわけです。

この貝島家に養子に入ったのがL貝島その人。五高から東大へ進み、大学時代は講義そつちのけで図書館に通い、人事興信録と首っ引きで「年ごろの一人娘しかいない大財閥」のリストを作られたそうです。これが所謂『貝島流日本一養子口の科学的三十年計画』で、

これについては自ら次のように語られています。

「私は長男だったが、実家（三潯郡大川）は貧乏のどん底。とても社会奉仕どころじゃない。かといってサラリーマンになってもラチはあかん。そこで巨万の富をつかんで…という事になったんだな。養子にあらざる人は、養子の口もかかってこんど一流人である」。抜きがたい養子軽視の時代相の中で語る養子論は威勢がよく、歯切れがいい。

進んで養子となり、財閥を継承した後はご存知の通り。九州財界の中心人物として活躍し、政界にも強い影響力を持っていました。そして、特に晩年はライオンズ活動に情熱をささげ、出会った多くの人々を啓蒙し、その結果、福岡LCをはじめとして、その生涯で十三クラブを創設、三百名の会員をスポンサーしました。また、L村上を国際会長に押し上げる原動力となるなど世界的にも前人未だの功績を残されたわけです。まさにグレート・ライオン（偉大なる獅子）の称号に相応しいと思っています。

L貝島の直系であり、熱烈な信奉者であったL緒方豊吉はL貝島から聞いた会員招請の言葉を次のように回想されています。「LCはその精神において企業倫理とまったく相反する団体だ。だからこそ企業人はすすんでLCに入会せよ。L貝島の偉大さを表して余りある言葉ではないでしょうか」。

以上、私見を交えて、先人の足跡を振り返ってみました。

一年前に私が在籍する福岡大名LCの会史を編纂した時、スポンサーの系譜を調べてみたところ、その会員の源流がすべてL貝島に辿りつくことが判明しました。このことは他のクラブでも大同小異ではないでしょうか。

私は今、九州に集う私たちはL貝島を「ルーツ」とする一つの家族と思っています。そうであれば、その歴史を理解して、先人に敬意を表することは、引いては私たち自身の誇りにつながる。この厳しい世相の中で会員減少に歯止めをかけることにつながると思っています。この特集が結果として少しでもLCへの「帰属意識」の高揚や新旧会員の融合に資すれば、企画した一人としてこれ以上の喜びはありません。

# ◇ライオンズ座談会◇ 「今後のライオンズの問題点」

平成二十一年三月五日 合同事務局にて

【出席者】 L小松 至誠 (2R・RC) 福岡城東LC

L堀本 正 (2R・1Z・ZC) 福岡博愛LC

L重松 史郎 (2R・2Z・ZC) 福岡玄海LC

L青木 妙子 (2R・3Z・ZC) 福岡ベイシティ21LC

L近藤 幸成 (2R・4Z・ZC) 宗像LC

L徳永修一郎 (P・R・I・T・ザラタ編集委員) 福岡大名LC

L鹿島 紀夫 (YCEE委員) 福岡NOZLC

L松山 廣子 (視聴力保護福祉・環境保全・献血・献腎委員) 福岡花LC

(司会) L谷 和也 (2R当番PR委員長) 福岡大名LC

——司会を務めます谷です。早速ですが、ライオンズクラブは今、様々な課題を抱えています。本日はどんなテーマでも構いませんので、皆様が日ごろ感じられている問題について、どしどしご意見を伺いたいと思います。小松RCに口火のご発言をお願いします。

**小松** 私はLCを取り巻く環境が発足当初より変わっているのに、それに対応できていないのではないかと思っています。当初はNPOもなかったが、今は様々なボランティア団体がある。公民館活動もあれば、社会福祉活動もある。今、私たちの活動が市民のニーズに応えて、本当に理解されているかどうかが大きな問題と思う。組織に縛られて(大胆に)動けない面もあるが、いつまでも我田引水的にもしくは仲間内だけでやっている、社会に向けたLCの活動は止まってしまふ。大きな課題ですね。

——リジョン誌の千人アンケートによると、会員の多くはLCIFや盲導犬育成支援CSFIIなどを主要アクティビティと認識しています。「一般の人にもっと(LCの活動を)PRすべきではないか」との問いには圧倒的多数が「ハイ」と答え、そのPRの手段の一つにテレビCMを提案したところ、こちらも圧倒的に「ハイ」が多かった。テレビCMについてはどう思われますか。

**青木** 私は街頭献血がLCの一番の活動とっていますが、テレビニュースに取り上げてもらえばいいわけで、別にCMまでは難しいのではないかと思います。

**堀本** 今、献血の話が出ましたので、言いますが、私が献血委員長をやった時はA地区全部回りました。その時、感じたことですが、当時は1Rから7Rまでありましたが、4Rと7Rを除くクラブは町や村、テレビまで巻き込んで一生懸命にやっていました。(それに比べて)今で言う2Rと4Rは博多駅や天神に行つて、(献血)車のそばで「お願いします」と言うだけ。LCとしての努力がなく、全く情熱が伝わってこない。これではただのお遊びで、LCとして取り組む姿勢が全く悪い。もう少し考えないといけない。テレビCMについて言えば、予算まで取つて自分たちの功績をPRするのは、私はちよつと考えものと思う。

**松山** 私も献血については、2Rは(意識が)低いと思います。日赤からのローテーションを年三回ほどこなしているだけ。先日、伊都LCに視察に行つたら、地元の高校に献血車を七台用意して、七百人近くの生徒さんが協力していた。年一回実施されているということでした。

**堀本** 伊都(LC)さんはよくやっている。街ぐるみ、奥さんぐるみ。おしるこも出している。あれが本当のLCです。それから、つしまLCですよ。島ぐるみです。自衛隊の基地の隊員を全部連れてきて、千人単位で献血をやる。意気込みが今の2Rと差があります。

**鹿島** (2Rが) 都会ということ(が原因)ではないですか。

**堀本** それもあるでしょうが、2Rと4Rの悪いところは福岡市全体から会員が集まっているから(会員が)地域密着というところまでいかない。地域に関係なく、どこからでも加入できるというシステムは全国的に見ても特異なんです。会員増強の欠点にもなっていますが、地域密着の行動ができないから(会員にとつても活動が)面白くないわけです。

**小松** 献血でも福岡市以外の市町村では、行政とLCが一体となって頑張っている。

**松山** 研究会に行ったことがあるのですが、市政だよりに(献血について)記載しているところもあるとの報告もありました。

**鹿島** 話の腰を折つて悪いけど、LCをいかにPRするかという話に戻せば、私はLCが一つになつて何かすることができないかと思っています。年一回ぐらい全部のクラ



プが集まって、すごいことをすればいい。(事業に)アピール性がなく、魅力がないから新聞やテレビが取り上げないわけで、ガバナーあたりが年一回ぐらい魅力のあるボランティアを考えれば、(PRも) そう難しいことではないと思う。

**堀本** 金を出して報道してもらうなんていうのは邪道。報道機関が取り上げるようなものをやるのが本筋だと思います。

**小松** 昔、7Rの時に全クラブに声をかけて大濠公園の清掃をやったことがある。当時はまだ今のように整備されていなかったから大変な話題になりました。

**鹿島** お金を使うより労力アクティビティの方が人々の注目を集めると思う。

**堀本** 第一、大きな資金を使うようなボランティアは、どうしても利害関係が出て来る。金を伴わないようなアクティビティがいいよね。

**小松** それから地球環境など視野を広げてボランティアを取り上げないと、LCらしさもないし、共感も呼ばない。一つの旗を立てていく必要がある。

**堀本** 基本的にはボランティアのあり方も改革しないといけないですね。

**松山** LCは地域密着をうたい文句にしているが、実際はあまりやっておらず、口先だけになっている。もっと地域に密着すれば、会員増強にもPRにもつながる。

**小松** 私は二つの考え方があると思う。

一つは地域密着で(市民の)目に見えるボランティア。もう一つはLCだからできるというようなボランティア。CSFIIでも私たちの地区はあれだけの金銭を集めたけど、世間の人々は知らない。そこは私たちの捉え方の問題だろうと思いますよ。

**鹿島** 昔から日本に独自の財団を作り、日本で集めたお金は日本で使えばいいという主張もある。

**堀本** 日本人の独特の感情かも知れないけど、LCIFに協力は一生懸命するけど、日本人はそれを日本で使おうと言う気力がない。私はLCIFの資金を事業に使うのは単一クラブでは難しく、リジョンや地区の仕事だと思

手前 今回のアンケートデータを報告しながら司会進行するL.谷

う。しかし、LCIFの申請は九月には締め切られる。日本のLCの現状を見ると、執行部の任期が始まって半年ぐらい経って、何かしたいと思いつく。ところが、その時には既に申請の締め切り後となる。一人で言ってもどうにもならないが、良くて悪いのが一年任期制で、このシステムを変えないとどうにもならない。LCIFを有効に使うには最低リジョン単位で考えないといけないと思うが、これまたリジョンは事業をしてはいけない(規則)になっている。いろいろ難しいシステムです。

少し話を戻して、近藤ZCにお尋ねします。テレビCMの話は4Zのガバナー公式訪問のときにあるクラブ役員から出た話です。「献血をはじめ、地域に密着した活動はしているが、どうしても市民にLCが正しく理解されていない。いつもLCというのは球団ですか、マンションですかと聞かれる。もっと地区なりでPRすべきだ」との意見でした。PRについてはいかがですか。しつこい様ですが、これは地域に一番密着しているだろうと思われる4Zでの意見なのですが：

**近藤** 初歩的な話で申し訳ありませんが、宗像大社や赤間駅周辺などでボランティア活動をする時、ライオン帽とタスキをかけていると、異様な雰囲気で見られるのです。募金活動でも駅に立っているだけで避けていく。やはりLCの存在を正しく世間に知らせるためには、多くのクラブが集まって何かをまとまってい、その効果の人々に見せることが必要だと思います。また、それは次元が違いますが、昔は審査があつて入会まで数年かかったという話を聞きます。今は誰でも入会させる。LCの気迫が感じられません。ライオン帽とタスキ姿で活動することを恥ずかされる会員さんもいますし、ボランティア活動にもクラブの半分ぐらいしか携わっていない。LCのパワーが落ちてくる気もします。PRを云々言う前に、私たちサイドも意識改革をやらねばならないとも率直に思っています。

次にアクティビティの問題ですが、やはりアンケートで、単一クラブではなく、全体でやるテーマは何かいいかとの質問に、答えは多い方から一番が地球温暖化の問題、二番が福祉・医療、三番が教育問題の順でした。皆さんこの辺に関心があるようです。

**重松** 私は流れから言ってお客員増強(の問題)に関心があります。会員増強に関しては、クラブは定員制にすべきと思っています。それぞれのクラブで四十人なり、五十人なり、六十人でもいい。天井なしで、増やせ増やせというのはアメリカのユダヤ商法みたいですね。とにかく人数を決めてやれば、クラブ内の意識が固まる。五十人が定員のクラブであれば、一人減ったら、みんなで一人増やして定員を割らないようにしようと頑張る。とにかくいくらでも増やせばいいということは、悪く言えばゴミ箱みたいなクラ



左よりL.青木、L.堀本



右 L.重松



L.小松

ブが出来ないとも限らない。奉仕活動にしても余りにもマンネリ化していると思う。町が比較的きれいになっているのに、ごみ拾いしたって何の感動もない。これからのライオンズは環境問題でシンポジウムを開いたり、データを集めて研究発表したり。あるいは著名な研究者を招いて講演会を開いたり。とにかくLCらしいもつと次元の高いテーマに取り組みべきではないか。町内会と似たようなことをしても会員の意識があらがない。会員が四十人であろうと、五十人であろうと、要は活動の中身の問題。取り組みに気高さが無いといけない。誤解を恐れずに言えば、しっかりと取り組みがなければ、LCIFで何回賞を取ろうとナンセンスです。LCらしい次元の高い活動を考えて、それについていけない人は他のところに行つて頑張ればよい。意識を高く持つていくためにも、若い人がどんどん改革、変革してほしい。その延長で言つても、会員増強でも誰も彼も連れてくればよいというもんじゃない。

**小松** 少し前に、漁業者が山で間伐し、植林しているところが報道されていました。テレビを見られた方もおられると思うが、なぜ、漁業者が植林するのか。これは水の恵みの話で、山があるから漁業ができるということです。私は発想がそこだと思えます。LCの活動でも環境問題だから植林すればいいではなくて、なぜ植林が必要なのかをきちつと説明することが大切です。そうでなければ、会員さんから金も労力も出てこない。きちつと目的をはっきり打ち出してやっていけば、これからLCは大きな力を発揮できると思えます。

**鹿島** そのためには、各会長さんにビジョンを持つてもらわないといけないが、今はビジョンも

何もなくて、順番が来て会長をするだけ。昔は各委員長の研修会があり、会長になるまでにいろいろ吸収できた。しかし、今はそれが無い。キャビネットは金がないと、ここ数年は各種の研修会をあまり開かなくなった。私は講師をどうするかの問題はあるが、第一副会長の段階で一年間もつと研修会に参加し、いろいろ勉強してもらいたいと思う。あるいはせめて会長を対象にした研修会くらいは年に何回は開くべきだと思います。会長にもつとLCのことを身につけ、ビジョンを持って就任してもらえば、LCも変わる。あるいは共同歩調で何かやろうとの発想も出てくる。ところが、この頃はリジョン会で初めてお互い顔を合わせる事が大半ではないか。これでは他クラブと一緒に何かやろうと思つてもできない。

**小松** リジョンは千人の会員がいる大きな組織ですが、今までこんな形でLCについて皆さん方と話し合うことがなかった。今日は素晴らしい会だと思えます。そこで、私は昔キャビネットにあつた長期計画委員会みたいな委員会をリジョンに作り、三年ぐらひかけて組織やアクティビティ、研修会など大きなテーマを検討したらいいと思う。キャビネット任せにしていたことが、今日のLC（の実態）を迎えていると正直に思いますね。

——小松RCは昨年のライオン誌秋号で体制検討委員会の設立について言及されていますが、今の話と符号しますね。

**小松** 私も今の立場になって、それも後半になって必要と思うようになりました。次にきちつと引き継ぐためにも、今期中にこれから何回か皆さん方とお会いして、どういう組織を作っていくのか検討していきたいし、皆さんにも検討に参加してほしい。

**鹿島** 私もYCEの委員を半年やつてみて、やつと何をしなければならぬか分かった。しかし、その時には既定路線が決まっております。変えたくても変えられない。もつと早い段階から関わっておれば、多分もつと変革できたと思う。それでも多少は変えましたよ。でも根本的に研修の仕方でもオリエンテーションのやり方でも、もつとすれぱいいと思つても既に流れがあり、変えられない。たとえば、研修会に呼ぶ講師で自分はこの人がいいと思つても、その時はすでに（前のYCE委員が別の講師を）頼んでしまつていて変えられないということになる。私はYCEは二年はやらんと改革はできないと思う。一年は副でやり、一年は正でやるぐらいにしないと、多分いろんなことを改革できない。私も本当は改革したいことがある。でも一年と言う期間を考えれば、気がついた時には任期は終わり。だから少なくとも2RだけでもYCE委員は半年間長くやっていただくわけにはいかんかと思つています。そうすれば、少しずつでも改革できると思えますよ。



左よりL. 近藤、L. 鹿島、L. 松山

**堀本** 私は（任期は）二年にしないと（改革は）無理と言っている。しかし、規則で一年になっている。だから、対応策としては、会長でも委員長でも全部、副（委員長）をつけて何かする時は必ず研修の意味でも同席させることを考えなさいと言っています。

**鹿島** 私も突然言われて（地区の）YCE委員になったが、本当は現YCE委員が、各クラブの委員長の中からでも推薦するシステムを作ればいいと思います。そうすれば、いろんな機会に（後継者と考える人を）教育できるし、意見交換して改革して

いくこともできる。多分、他の委員会でも同じだと思いますよ。

**重松** 今（の活動）は一年間の繰り返しばかりで、組織が進化する土壤がない。進化するシステムを考えないといけないと思う。

**小松** YCEで派遣されて、帰ってきて、OB会を開いてくれる人もいるが、いない人もいる。私はLCの基金で行った人はレオに入ってもらい、レオを卒業したらLCに入ってもらおう。こんな継続的な人材育成も考えなければいかんと思っています。

**鹿島** 今、レオの経験者とYCEのOB会で何かやろうと計画を進めているところですが。でも次の（委員の）方がそれを理解して、続けてもらわないと、そこで止まってしまう。

**重松** 私はこのごろのLCの指導者はだらしなく思う。小松RCのことではありませんよ（笑）。先日のライオンズクエストの講義は何ですか。（国際協会から言われたからみんなを集めたという感じで）何の達成感もない。よく言ってくれたと思いますが、参加者からクレームも出てましたよ。もっと日本のテーマに合うかどうかなどしっかりと考えてほしいですね。

**小松** 東京まで交通費使つて会議に出て、持ち帰って報告することが何もないような中身の無い会議も多い。複合（の会議）も顔合わせみたいなものが多いですね。もっといろいろ検討の余地ありと思います。

**重松** 徳永さん、あなたが提案している青年アカデミーの話をしてはどうですか。

**徳永** 年次大会の議案に大名LCとして提出させていただきました。私が何を考えているかと言いますと、今の状況は自由な立場で話をする場がなく、みんな聞きたいこと、言いたいことを言えないまま、勝手にあきらめてしまっている。役員になってもしよう

がないと思っている。こんなことを延々と十年も二十年も続けている。最近、LCをお辞めになる方の大部分は若い人が高齢者です。私はある意味、数はステイタスと思っただけでやっているクラブで長く続くわけがない。私が考えている青年アカデミーは、クラブの枠を超えて横のつながりを持たせ、一つのクラブでは消化できない勉強をしたり、自由に話せ、意見を発表できる場を作ったかどうかという発想からきています。年次大会で議案が可決されたら五月から準備委員会を作ろうかという流れになっています。とにかく若い者が集まり、話しやすい雰囲気の中で、LCの楽しさが体感できる組織を作りたいと思っています。

**小松** それはいいことだと思っっています。昔、（昭和生まれが集まる）唱和会というのがあって、随分LCを引っ張っていったことがありました。若い人の組織は必要です。

**鹿島** 私も四十代のころ、いくつが異業種の会を作りました。徳永さんの考えている組織に私も賛成です。さらに言えば、私はガバナーが四十代でもいいと思う。逆に言えば、ガバナーが七十代以降では体力的にもあまり新しいことはできない。他の地区では四十代のガバナーがいましたね。うちの2Rでも四十代のガバナーが出れば、新しいことがどんどん実現していくのではないですか。

**小松** 四十代、五十代前半でガバナーにならんと、国際理事やそれ以上にはなれないね。

**堀本** 四十代の働き盛りでガバナーになって、五十代でもっと上の国際レベルの役員をするのが本来の姿と思うが、現実のLCの組織はそうはなっていない。ガバナーになるのだから、口ではきれいごと言うけど、裏では違う。一生懸命頑張ったら、いつの間にか梯子をはずされて、気がついたら一人ぼっちということもある。

**鹿島** 今のガバナーの選び方にも非常に問題があると思います。一般の会員さんがほとんど知らないところで決まっています。やはり一般の会員さんが参加できるガバナーの選び方をしなければいけない。秘密会議でごちゃごちゃ決まっている感じで、それでは誰も（ガバナーを）尊敬しない。

**堀本** ガバナー選んで秘密会議みたいなことがあっては絶対いかん。みんなですっかり選ばんとね。

———まじめに入りたいと思います。改革のためにはいろいろな問題があるが、一番はガバナーにしても地区役員にしても、とにかく人事がどういう形にか秘密裏に決まっているところにあるというのが本音のような気がします。本誌の元旦号で、L秦三郎（名譽顧問）とL瀧榮司（前地区ガバナー）に対談をお願いしましたが、その席上、L

秦は「2Rの役員人事はローテーションなしでやっている」、L瀧は「優秀な人材なら一本釣りしても押し上げた方がいい」と発言されています。私は人事が決まれば引き継ぎも十分出来、予算も次期役員也希望も踏まえて確保できるわけですので、もっとオープンな形で早く人事が決められないのかと考えています。その辺はいかがでしょうか。

**小松** 過去のことは言いませんが、人事については二つのことが言えます。一つは各クラブ、各会員ともローテーションで決まると思っておられる方が多い。もう一つは、ローテーションでいくとしても、たとえば若いクラブなどで該当者がいない場合もある。その場合、表現は悪いが、リーダーに相応しい人、優秀な人材を一本釣りするという発想も出てくるが、それでも不透明さは残る。そこで、現実にはローテーションを尊重した上で、(役員を)出せないクラブがあれば、次に送る。そのクラブで出せるとなれば、ZCが会長さんと相談しながら人選し、それを尊重するのが基本です。

——つまりZCがローテーションを基本にして調整しながら次期のZCと地区委員を推薦するのが基本ですね。

**小松** 実際には、ガバナーから各リジョンのRCに「ガバナーに代わって各役員を推薦してくれ」という文書がくる。そこには「各リジョンの顧問に相談の上で」との付則みたいなものがついています。顧問の方々が歴史をよく知っておられるからです。その流れの中で、ZC、RCは三月いっぱい、出来れば地区委員まで三月いっぱいまで決定できれば一番いいわけです。今期はZCの皆さんが優秀ですからそういう線でいくと思っています。しかし、今の話はあくまで基本であって、人事のやり方を文字で表現するのは、次の方を拘束してしまい、禍根を残すことにもなりかねず、非常に難しいことです。

**徳永** 私は大きな問題で言えば、ガバナーのリジョン輪番制もいつか廃止になればいい。自分がやりたいという気概をもった人がリジョンの枠を超えて手を上げるのが理想形と思っています。そうすれば、地区委員もゾーンの垣根を越えて人選できるようになる。

**堀本** 過去の委員変遷の実績を見ると、大体ローテーションに近い状態で選出されています。理屈の分からないZCもたまにはいますが、これまであまりひどい選出はありません。

——あと一つ質問があります。国際会則に定めがあるわけではないのですが、ガバナーになるには会長を経験する必要があるとされています。その辺はどうなっているのですか。

**堀本** ガバナーに立候補する権利があるのは、地区幹事、地区会計、ZC、RC経験者です。

——逆に、地区幹事、地区会計、ZC、RCには会長経験が必要ですか。

**堀本** 大体、会長経験者を選んでいます。過去に会長を経験されていない方が選ばれたこともありませんが、普通、トラブルがないのは会長経験者を選ぶことですね。

**小松** 通念上、ZCは会長経験者、地区委員はクラブ幹事経験者を選んでいきます。

——今期も八月過ぎました。最後に皆さんの中で、何か問題点があった、これを是非次の方に伝えておきたいというものがありませんか。

**重松** マンネリ化した会議も多く、ミーティングの在り方を考えた方がいい。内容を考えて、もっと実のある会議をしたいですね。今日の会議はものすごく良かった。

**堀本** 本音で話せる会議をしないと、正直、身が入らん。

**徳永** いつも諮問委員会が皆さんに評判が悪いですね(笑)それとRCの立場が目立っています。RCが活躍するのは、世界的に見て日本と韓国ぐらいです。本当はZCがもっと指導力を発揮されてゾーンをまとめてほしいと思っています。

**重松** 各クラブが独自で運営するLCの組織では、現実のところZCが指導力を発揮することはあまりできません。今後、その辺についても、もう少し知恵を出し合っていかなければならないと思っています。

**青木** 会長が順番に回ってくれば、何も分からないで会長になることもある。やはり会長の勉強会があった方がいい。ただ集まるとの食事会みたいなものではないけません。各クラブを回って、合同例会を二クラブぐらいでやりたいと言う声も聞きました。

**鹿島** うち(福岡NOZLC)は親クラブの福岡西LC、それと福岡大濠LCの三クラブで合同花見例会をしています。

**堀本** 合同例会をやるのはいろんな意味でいいですよ。

**近藤** クラブが少人数となり、役員のローテーションが早く回ってきている。一方、三十人ぐらいのクラブでも、三分の一は(活動に)携わっていないのではないですか。もっと意識改革をして、充実した奉仕活動ができればいいと思っています。

——本日は長時間にわたりご議論いただきありがとうございました。最後に小松RCに締めていただきたいと思います。

**小松** 本日、こんな実のある会議をPR委員会でもらって感謝しています。RCをはじめ次期の役員さんも今期に負けないような優秀な方々が選ばれると思います。私も残り四カ月ですが、頑張りたいと思います。いずれにしても本日のご発言の中で次につなげるべきものは次につなぎ、今期中に立ち上げたいものは立ち上げていきたいと思っています。

1ヶ月で見るライオンズクラブ  
ライオンズクラブ国際協会  
**337-A地区  
ライオンズクラブ  
分布図**  
2009.2.28集計

337-A地区会員数 集計表

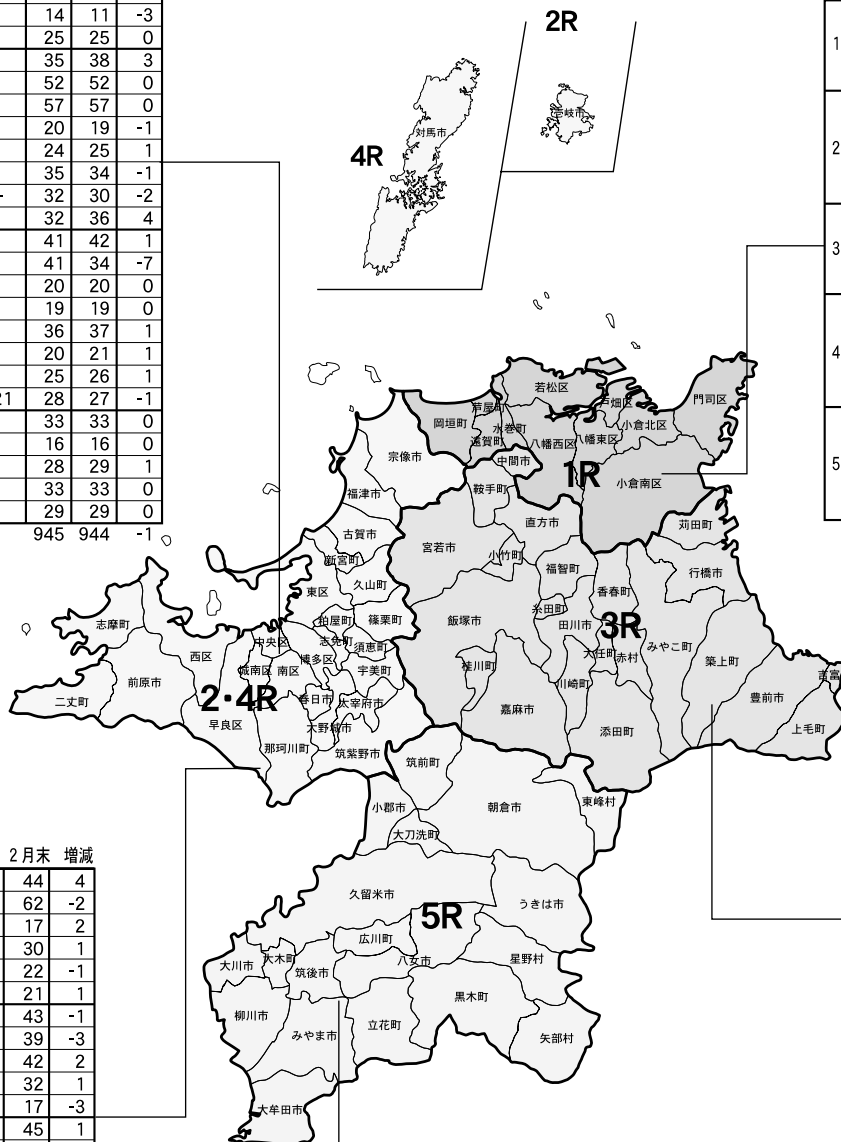
リジョン	ゾーン	クラブ数	期首会員数	現在会員数	増減	現在平均会員数
1R		23	783名	837名	54	36.3名
2R		29	945名	944名	-1	32.5名
	1Z	8	289名	287名	-2	35.8名
	2Z	8	287名	291名	4	36.3名
	3Z	8	230名	226名	-4	28.2名
	4Z	5	139名	140名	1	28.0名
3R		19	1,050名	1,073名	23	56.4名
4R		25	956名	961名	5	38.4名
5R		22	1,003名	985名	-18	44.7名
合計		118	4,737名	4,800名	63	40.6名

2R

Z	クラブ名	期首	2月末	増減
1Z	福岡西	39	38	-1
	福岡北	44	41	-3
	福岡大濠	29	28	-1
	福岡黒田	60	57	-3
	福岡桜	48	52	4
	福岡NOZ	30	35	5
2Z	福岡博愛	14	11	-3
	福岡大樹	25	25	0
	福岡舞鶴	35	38	3
	福岡城東	52	52	0
	福岡玄海	57	57	0
	福岡誠	20	19	-1
3Z	福岡シニア	24	25	1
	福岡花	35	34	-1
	福岡フィフティー	32	30	-2
	福岡フレンズ	32	36	4
	福岡鶴城	41	42	1
	福岡筑前	41	34	-7
4Z	福岡赤坂	20	20	0
	福岡文化	19	19	0
	福岡大名	36	37	1
	福岡平和	20	21	1
	福岡黎明	25	26	1
	福岡ベシシティ21	28	27	-1
若杉福岡	33	33	0	
壱岐	16	16	0	
花鶴福岡	28	29	1	
かすや南	33	33	0	
宗像	29	29	0	
合計		945	944	-1

1R

Z	クラブ名	期首	2月末	増減
1Z	北九州	26	41	15
	北九州中央	19	19	0
	北九州紫水	45	47	2
2Z	北九州小笠原	19	22	3
	北九州小倉	94	101	7
	北九州勝山足立	44	39	-5
	北九州小文字	43	42	-1
	北九州シニア	31	32	1
	北九州小倉東	45	49	4
3Z	北九州門司	27	28	1
	北九州東	20	20	0
	北九州門司みなと	29	32	3
4Z	北九州戸畑	41	50	9
	北九州若松	24	23	-1
	北九州高塔	18	21	3
5Z	北九州洞海	21	20	-1
	遠賀	39	43	4
	北九州八幡	40	42	2
	北九州西	38	42	4
	北九州帆柱	43	44	1
	北九州黒崎	28	32	4
北九州きなみ	36	35	-1	
合計		783	837	54



4R

Z	クラブ名	期首	2月末	増減
1Z	福岡	40	44	4
	福岡第一	64	62	-2
	福岡リパティ	15	17	2
	福岡くしだ	29	30	1
	福岡鴻臚館	23	22	-1
	福岡城南	20	21	1
2Z	福岡中央	44	43	-1
	福岡南	42	39	-3
	福岡ふよう	40	42	2
	福岡天神	31	32	1
	博多リパティ	20	17	-3
	福岡博多	44	45	1
3Z	福岡博多東	47	47	0
	福岡博多中	30	34	4
	福岡那の津	69	71	2
	福岡イースト	22	26	4
	福岡博多シティ	31	29	-2
	福岡那の香	31	31	0
4Z	つくし	49	49	0
	つしま	30	28	-2
	糸島	63	63	0
	つくし中央	52	49	-3
	太宰府	44	43	-1
	大野城	32	31	-1
伊都福岡	44	46	2	
合計		956	961	5

3R

Z	クラブ名	期首	2月末	増減	
1Z	直方	62	62	0	
	中間	68	69	1	
	宮若	40	50	10	
	鞍手	28	28	0	
2Z	行橋	64	63	-1	
	田川	136	144	8	
	豊前	55	58	3	
	川崎福岡	33	31	-2	
	下田川	34	34	0	
3Z	苅田	54	54	0	
	山田	37	34	-3	
	飯塚	124	126	2	
	稲築	36	35	-1	
	嘉穂	55	61	6	
	穂波	73	72	-1	
4Z	桂川	28	30	2	
	筑穂	32	32	0	
	庄内	29	28	-1	
	飯塚竜王	62	62	0	
	合計		1,050	1,073	23

5R

Z	クラブ名	期首	2月末	増減
1Z	久留米	34	36	2
	甘木	66	69	3
	浮羽	32	32	0
	久留米りんどう	59	56	-3
	浮羽みのう	31	34	3
	久留米有馬	61	56	-5
2Z	八女	76	73	-3
	黒木	28	28	0
	久留米中央	36	36	0
	小郡	51	51	0
	久留米ちとせ	27	26	-1
	久留米高牟礼	26	25	-1
ちくご菜の花	43	42	-1	

Z	クラブ名	期首	2月末	増減
3Z	大牟田	48	46	-2
	瀬高	43	40	-3
	大牟田中央	50	50	0
	大牟田三池	42	39	-3
4Z	大牟田不知火	32	31	-1
	柳川	65	65	0
	筑後	54	52	-2
	大川	50	50	0
大川中央	49	48	-1	
合計		1,003	985	-18

## 福岡西ライオンズクラブに入会して一年

山本 早苗



「えっー私  
がライオンズ  
クラブ？」一  
年前、福岡西  
ライオンズク

ラブへ入会の誘いを受けた折には、  
驚きで目を白黒させていました。

私にとってのライオンズクラブ  
とは地位も名誉もあり、時間にも  
気持ちにも余裕のある方々が、社  
会奉仕している団体のイメージで  
す。五年前に会社を辞め、始めた  
仕事を数ヶ月前に拡大したばかり  
の私にはとても社会奉仕の活動を  
行う余裕はなく、お断りすべきか  
と思いましたが、以前より仕事が  
落ち着いたらボランティア活動を  
中心に社会に役立つ活動を計画し  
ていた私には、ご縁が向こうから  
やって来たので、これは何かの巡  
り合わせかと思ひ、仕事とどれだ  
け両立できるかと不安をかかえな  
がら、まずは入会してみる事にし  
ました。

はじめは例会に出席するのが  
やっと。会の皆様のお顔も緊張で

なかなか覚えられませんでした、  
入会して一年が過ぎ、活動の内容  
も少しずつわかり、最近では緊張も  
とれてまいりました。

ボランティア活動に携われる喜  
びもさることながら、諸先輩方の  
色々なお話やご指導を受けること  
が出来ると、クラブの活動の為  
には、時間を惜しまず協力されて  
いる皆様の姿を目の当りにして、  
奉仕とはこうあるものかと日々お  
勉強にもなっています。

まだまだお役には立ちませんが  
「We Serve」の精神を心に  
刻みクラブの皆様と力を合わせ、  
活動に取り組んで参りたいと思っ  
ています。

We Serve



## 障害者就労施設 いるかワーク・ドックワン支援

会 計 星川 隆二

昨年九月に障害者就労施設の支援の  
ため、いるかワーク・ドックワンを訪問  
しました。

平成二十年四月に開所したばかりの  
施設で、福岡市早良区内野の閑静な住宅  
街にあり、自宅を改装して作られた作業  
所です。若い障害者の

方々を就労して、愛犬  
用の食材を製造販売し  
ている施設です。製品  
は愛犬用ペットフード、  
おやつ、お誕生ケーキ  
です。どれも愛犬が、  
おいしく、安心して食  
べられ、健康に配慮し  
た手作りのものです。  
人気のささみジャー



キーを実際に手作りしているところを  
見学させていただきましたが、オープン  
でこんがり焼きたての出来たての  
香りは、思わず手がでてしまうくらいで  
した。愛犬用のお誕生ケーキは、すべて  
ヨーグルトできており、名前も入るこ  
だわりの企画で愛犬の誕生日を人と同  
じようにお祝いできます。

就労されている障害者の方々の仕事

ぶりですが、皆さん楽しそうに生き甲斐  
をもってお仕事をされており、時々でる  
笑顔が印象的でした。仕事の合間にス  
タッフの方と勉強も三時間位されてい  
ることです。

どうしても活動範囲が狭くなりやす  
いなかで、仲間と共に仕事をす  
ることで身につけた経験と知識  
は社会に出ての心の支えとなり、  
また必ず自立の役に立つことと  
思います。その機会を作り出す  
就労施設の存在意義は大きいと  
思います。しかしながら、この  
不況のなか、障害者就労環境も  
逼迫しています。存在意義だけ  
で継続できるほど行政の保護活  
動は行き渡っていません。ライ  
オンズにもとづいた多彩なアクティ  
ビティのひとつが、このような施設のあ  
と押しになればと思います。  
ドックワンのスタッフの皆さん、開所  
して間もないこのことでまだまだ設備  
も認知度も不足して大変でしょうが、障  
害者のためのすばらしい施設となるこ  
とを心から願っております。

福岡大濠ライオンズクラブ

## ライオンズクラブに在籍して

ㄥ木村 俊作

私は昭和五十八年に文化ライオンズクラブにチャーターメンバーとして入会し、昭和六十三年から現在まで約二十一年間福岡大濠ライオンズクラブに在籍しております。我がクラブは現在会員数の減少（三十名弱）で、今の時期になりますと会長をはじめ三役の人選に大変苦労いたします。

しかしながら、皆さんのご協力のお陰で二十八年目も二月二十四日のボーリング大会、三月の三クラブ合同例会、四月姉妹クラブ韓国固城ライオンズクラブとの交互訪問（今年は我々が訪問）と年次大会、五月複合地区大会、六月恒例の持ち出し例会を残すのみになりました。当クラブの会長ㄥ岩田幹事ㄥ小松、会計ㄥ永峰、いずれもライオン暦の浅い皆さんで色々ご苦労も多かったことと思いますが、大変順調に活動していただいております。

ライオンズクラブは、WE SERVE、すなわち（われわれは、奉仕する）という目的をもって設

立されたクラブですから、100のメンバーといわれる団体とは異なり、皆で協力して役割分担しながら私たちも現在まで活動を行ってまいりました。けれども世の例外にもれず、当クラブも高齢化が進み、新しい会員の増強もなかなか難しい状況となっております。

これからの福岡大濠ライオンズクラブの課題は奉仕団体としていかに存続していくかにつきるのではないのでしょうか？そのためには会員数を増やし、クラブ全体が円滑に運営されることが一番ですから、もう一度初心に帰り、会員の勧誘を積極的におこなうこと、を努力目標としてかかげ、われわれ一丸となって社会に貢献できる奉仕活動団体として頑張ってみましょう。



福岡黒田ライオンズクラブ

## 更生保護事業について

ㄥ横田 進太

一月二〇日の例会に、福岡保護観察所の統括保護観察官・社会復帰調整官室長・松岡一男氏の卓話をいただき、更生保護事業の大変さを改めて認識しました。

更生保護事業とは、犯罪や非行を犯した人が刑期を終え、又は仮釈放で出て来た人に更生の機会を与え、社会復帰して更生してもらうのが目的ですが、これらの事業を担う機関はまず法務省の法務局がトップで、その下に地方の更生保護委員会や保護観察所が有り、保護司さんや更生保護施設、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主等があることを、出席した会員は認識した次第です。又刑務所を出所した人達が実社会に出て健全な社会人として更生するまでには、保護観察所や民間のボランティアの保護司や更生保護施設等で援助や指導を行なっておるとの事、もしこの様な施策がなかったら、今日のような不況下でしたら職に就けなくて、ホームレスになったら大変な事になるとい話しを松岡氏から聞かされて、びっくりしました。



当クラブでは、更生保護施設福岡弥生寮に、支援金として三十万円を寄付し、法務大臣からこの度感謝状をいただきました。またその施設からも大変喜ばれているとお話を聞きし、意義深い事業が行えたと実感した次第です。

## 青少年健全育成コンサート「世界のTAOと奉仕で奇跡を」

幹事 「児嶋美希子」

我が福岡桜ライオンズクラブは、国際協会337-A地区で、初めての女性クラブとして二十年前に結成されました。

今期は、二十周年事業として昨年の十月には、青少年健全育成・国際親善を目標とした「チューリッヒ青年シンフォニーオーケストラ公演」を開催し、また十二月十六日には、サンパレスホテル&ホールに於いて親善コンサートとして和太鼓「T.A.O」の演奏を開催し福岡市の生活支援施設・福岡中央特別支援施設他合計四十施設計八百人の方をご招待するという大きな事業を成功におさめることができました。



この和太鼓の演奏は、力強さにもまして、演奏者のチームワークが素晴らしく、皆さんに多くの感動を与え、まさにアドレナリンが最高に噴出した時間を皆さんとともに共有した二時間、たったと感じております。また、T.A.O.のスタッフ

の方々から福岡桜ライオンズクラブに「桜絵巻」という曲をプレゼントしていただきました。その後、沢山の施設の方々から「感動した」「パワーをいっぱいもらいました」といったお礼のお手紙を頂き多くの方々をご招待してほんとによかったなど、二十周年の事業の一つとして感動的なボランティア活動だと確信しました。



年お互いのクラブを訪問し合いクラブの絆を深め、感動ある楽しい奉仕活動ができることを願いながら、日々邁進しています。

今、社会情勢が厳しいといわれ、急激な経済変化の中、その現実をしつかりと受け止め、今の時代に沿った活動をしていくことが地に足の着いたボランティアだと確信しつつ毎年大きな目標に向かって、会員が一丸となつて突き進む団結力とパワー

は、素晴らしく、まさに福岡桜ライオンズクラブ会員一人ひとりと、ただものではないと常々感心しているところです。

お蔭様で今年二十周年記念式典を迎えることが出来ました。まずは楽しい例会を目指し、沢山の会員

ンで、日々向上していつております。

厳しい社会情勢の中ではありますが、何事も前向きに取り組み今後も出来る限り奉仕活動を、続けていきたいと思っております。



また台湾の姉妹クラブ新竹慈慧ライオンズクラブとも毎

が参加しやすい活動、若い？私たちが（福岡桜ライオンズクラブの中では、若手と言われる私たち）は、元氣あふれる行動でボランティア、また熟年の方々は、あたたかいサポートと的確なサジェスチョ



## 「ライオンズクラブ変革論」

鳥谷 哲弘

ライオンズクラブが誕生して、九十年を越え百周年が迫った今日、多くの諸問題や時代に合わない悪弊が感じられます。ライオンズの火を未来永劫に消さない為に、我々ライオンズを愛する者は勇気を出して改革又は変革を成し遂げるべきです。アメリカ史上初めての黒人オバマ新大統領の就任演説を聞いて、涙が出る感動を覚えました。必ずアメリカはチャレンジ変革を実現します。ライオンズもオバマ大統領の様なリーダーの出現を待ち望む事が急がれております。

勿論、これまで築いて来られた先人の努力や功績に対し、心から崇敬の気持は失つてはいけません。ライオンズの motto We serve にある様に奉仕こそ我々の生命であり、使命であります。ところが往々にしてその精神を忘れ去り、オレ我々の自己中心や名誉や点数稼ぎに奔走して、本末転倒の嫌な部分も見て参りました。ライオンズの同志に申し上げたい。奉仕こそ生命であるならば、弱い立場の奉仕を受ける方々が主役であるのです。我々は奉仕を進んでさせて頂く脇役である事を忘れてはなりません。ライオンズクラブが誕生して九十年を

越えたと云う事は、世の中よりも超高齢化に向っております。お亡くなりの方やお体が不自由で活動出来ない会員さんが、激増しております。更に我国特有の少子化が進み、人口減少に歯止めはありません。そこへ百年に一度の大不況が追い打ちとなり、会員増強を困難にした上、退会者が今後増加する事が推測されます。故に過去の栄光手法をそのまま継承してはライオンズ組織が崩壊に向かう憂いを持つております。安易なエクステンションの時代は終わりました。それより力を入れるべきはミニクラブ化を防ぐ、クラブ会員三十名以下は勇気ある合併を真剣に検討すべきです。その為ライオンズ会員全員の意識調査やアンケート等で、未来を見据えた合併委員会を設置し、急がねば間に合いません。もう十年以上前に拡大路線は終わったのです。NPO等奉仕団体の多様化した今日、本当の変革を遣りとげなくてはなりません。

同志の皆さん、ピンチをチャンスに心一つにして変革に取り組みましょう。



## 私の武道体験記

広田 一孝

人は誰しも健康で、しかも強くありたいと願うものである。特に男子はその傾向が強いようだ。

私が小学校低学年の頃、当時の少年雑誌に載っていたと思うが空手家は数人の者達に殴られてもビクともしない不死身であると写真入りのイラストで描かれていたと憶えている。子供心にも空手で鍛えた人はそんなにも強くなるのかと強烈にაცოგれた。当時は空手チョップで有名な力道山の全盛時代で、レスリングごっこが大はやりな時であった。それから間々あってブルース・リーの活躍する空手ブームが起り、友人達と空手映画に興じたものだ。丁度その頃博多駅南側の音羽公園の一角に空手道場練武館ができた。

小さな道場であったが、門弟は多く強者揃いで県大会で優勝したこともあった。ここで私は初段をとったが、何か今一つ自信はなかつた。

やがて大阪へ行き仕事外の暇な時は正林寺流空手道場や都島の柔道場へも通つた。

柔道場は三、四段の猛者揃いで乱取り稽古は辟易したが練習後は門下生一同で

一里程離れた京橋迄走って王将のギョーザを食べに行つた事等良き思い出である。やがて極真の道場が難波にある事を知つてさつそく門を叩いた。かくて四国で道場破りで勇名を馳せた菅原師範の門弟となつた。当時の菅原道場は荒い事で知られ、極真仲間からも「菅原道場の者はダウシ迄させるねん」と言つて恐れられた。

菅原道場はキックボクシングの技を多く取り入れ膝蹴り、肘打ち、ローキックを合い言葉に組み手練習に勤んで荒技の習得に腐心した。腹筋運動も千回程させられヘタバつた事も度々あった。その時昇段試験の特訓をしてくれたのがK1の元理事長石井和義さんである。彼もまだ二十代で好人物で指導力もあり、私は二メートル程のサンドバックと格闘して鍛えた。その努力あつてか三、四人の者には負けないという不動の信念ができた。空手も柔道も黒帯を取る迄練習に練習を重ねたが、何よりも幸運だつた事は生涯の友となる青年達と何人も出会つた事である。

ともに汗を流しワザの練磨にあけくれた若き日々、人生で最も意義ある事の一つとして思い出されるものである。

## 「ありがとう、合同例会。勉強になりました！」

幹事 Lポブホン柿本

二〇〇九年一月、福岡鶴城LC、福岡ベイシティ21LC、福岡大樹LCとで「新年合同例会」を開催した。「少ない会員数」が、私たちクラブのもつばらの課題であるわけだが、いつもより多くの仲間たちと、わいわい例会をするのは、そんな厳しい現実をしばし忘れさせてくれる。たまには、こういうのもいいものだ。

勇壮な沖縄エイサー踊りを堪能した後、楽しいのど自慢大会に突入。みんなうまい。歌が終わると、百万円の札束を渡しているではないか！「むむむつ」よく見ると、どうやらおふざけパーティーグッズらしい。これには笑った。いつもはまじめな奉仕団体だが、新年例会だからこれくらいやっても大丈夫なのだ。会を盛り上げようと、みな工夫している！

テールツイスタータイム。赤いタスキに赤い帽子。ドネーションした人の名を呼び、起立させ、そのいきさつを、かなり詳しく、面白おかしく紹介していく。近況や病歴（病気ネタはクラブ会員の平均年

齢を考えると、しごくもつともな「盛り上がる」話題である！、恢復までの軌跡など、メンバーの人となりをテールツイスターは本当によく把握している！楽しく、しかも自然にドネーションできる雰囲気を作っているのは素晴らしい。わがクラブに、この文化はない。勉強になった。

せっかくだから、合同例会から何かを学び取ろう。会長が掲げた今期の指針の一つは、「全員参加」。それは、対外的なチャリティ活動や献血運動に限るものではない。少しだけ「積極的」になればいいのだ。二週に一度行われるいつもの例会——その中の会議で自分の意見を言ってみる、場を盛り上げるため、何か工夫してみる、少しでもドネーションしてみる、少し大きな声で歌ってみる、見渡せば、例会の中で私たちが積極的になれることがたくさんあるではないか、そんなことを気づかされた有意義な合同例会であった。

## 手作りオークション

PR委員長 L橋山 義博

世はまさに百年に一度と言われる経済危機。「チャリティーゴルフ以外で頑張る」という今期執行部の大方針がある中、どうしたら無理なく事業資金を獲得できるか。副幹事でもある私が「三役ばかりに苦勞はさせられない」と、ない知恵を絞り、多少のバクリ企画も含めて提案したのが昨年十二月の「盲導犬育成支援チャリティーオークション」。クリスマス家族懇親会のイベントの一つとして開いたが、わずか三十分で二十二万一千円の売り上げは、企画に温かく賛同し、出品していただいた会員各位と「気前よく」高額で購入していただいた皆様、カラー写真つきの出品表をパソコンで手際よく作成してくれたベテラン合同事務局員の協力の賜物であり、私にとっても一生の思い出となった。



無理なお願いを承諾していただいたばかりでなく、オークション当日、シエフ姿でステージに上がり、場を大いに盛り上げていただいた。

若くて美人、実力もある。こんな林由加子さん（NHK福岡児童合唱団伴奏者のピアノで、林麻耶さん（西日本オペラ協会会員、ソプラノ）と「西中洲の倶楽部」で好きな五曲をデュエットできる権利（ワイン・おつまみ・記念写真つき）は、当クラブ幹事、L島田光子にアレンジしていただいた。

このほか、フェラガモのバッグやスカーフ、オーストリッチのハンドバッグ、高級腕時計（紳士用など計十二点、チャリティーの趣旨を踏まえ、皆さんには次々と値を吊り上げて、オークションの雰囲気を出していただいた。シアトル・マリナーズのイチロー選手を縦一・五段、横一・二段に織り上げたタペストリー（采国製には規定による最高額である三万円の値をつけていただいた。私自身、ライオンズクラブの「力」を再認識したオークションでした。皆さんに感謝、感謝です。



## 環境保全応援アクト

市民・レク委員長 L 藤村 文彬

このころの季節には珍しくほの温かい二月十五日(日)、当クラブ恒例の「ヤマネコ保護・青少年健全育成支援」チャリティーボウリング大会がパピオボウル(博多区千代)で開催された。施設二十六レーン満杯の参加をいただき、会場に熱気があふれた。

会長挨拶(L入江隆生)では、大会の趣旨と参加者への謝意が述べられた。来賓挨拶(杉谷篤志氏・社団法人福岡県獣医師会副会長)では、ヤマネコ保護のため継続しての支援に謝意が述べられた。

L入江隆生、杉谷篤志両氏の始球式でゲームが開始した。七歳から十二歳と幅広い参加で、老若男女入り乱れての競技となった。パーンとピンのはじける音、ゴトゴトと溝をころがる音、やったーと言う声、うーんとうなる声、悲喜こもごもの音声が会場いっぱいひびきわたった。予定された二ゲームはあっという間に終了した。表彰式は隣接の卓球室で行うこととし、参加者に移動していただいた。表彰式の会場には計

画委員会の方々がアイデアを凝らして準備された賞品の数々が山と積まれ、みんなの気を惹いた。いざ成績やいかんと待ちわびる人々、なかなか成績表が出来てこなくて手もち無沙汰の計画委員会。急ぎよ、場つなぎの役を杉谷篤志先生にお願ひし、対馬ヤマネコ、西表ヤマネコ、ヤンバルクイナ等の野生動物の現状をお話していただいた。その中で野生動物の危機の状況は人間が作り出したことを指摘された。それならば復元の努力は人間がすべきの感を抱いたのは私だけではなかったと思う。

結局、会場のコンピューターの不調で残念ながら表彰式は延期となった。事故とはいえ、楽しみに待っていたいただいた参加者には心よりお詫びを申し上げます。



## 国内外に向けた未来へと続く21スタイルの奉仕

幹事 L 二場 安之

今期二十一年目を迎えるわが福岡玄海ライオンズクラブはまさに21スタイルの奉仕を行うべく、活動してまいりました。その幾つかのアクティビティを紹介させていただきます。

まずは、毎年行う海外支援事業で当クラブの伝統的なアクティビティとなった消防自動車(ポンプ車)の寄贈に際し、前期の寄贈先であるカンボジアのLCから依頼を受けて、消火方法の実演と技術指導を行う為に、消防士に同行して頂きカンボジアの首都プノンペンへ二〇〇八年十一月十七日行つてまいりました。現地では熱い歓迎を受け、五十名を超える地域の若者と交流し、その目的を達成することができました。



カンボジアでの消防自動車操作指導

次に、福岡市が推進するみどり地下まる大作戦と銘打った『地元の環境と心の癒し』に貢献すべく、地下鉄七隈線の薬院駅に設置する保水性プランターの寄贈を二〇〇八年十二月十二日に行いました。このプランターの散水は雨水を利用し、管理は駅に程近いクラーク



チャリティーコンサートで挨拶をする会長L 新木 猛

声高らかに発した時は、クラブ会員全員が奉仕に参加することができたと確信しました。全員が出演者を含めた会場の皆様に感謝の意で一杯でした。

学園高校の生徒さんが行うというものでした。環境と青少年育成の双方が同時に出来る奉仕となりました。毎年十月に地元の小学生と行う樋井川の清掃と蜷貝の放流と共に継続していければと思います。



ちかまるくんとショット

最後に、クラブで初めてのチャリティーコンサートについてです。二〇〇九年二月十二日、福岡市民会館においてサックス奏者のMALTAと九州女史高校吹奏楽部をお招きしてのコンサートを開催しました。満員の観客の中、会長が『スリランカへの里親支援と青少年育成』のチャリティー主旨を

## 例会に新風

PR委員長 L富永 靖雄

今期の会長L亀岡は例会の活性化のために魅力ある楽しい例会をしよう。その為に他倶楽部との合同例会や、卓話ゲストにも時宜にかなう内容のある話を聞こう」と提起し、例会に新風を吹きこんできました。この中からいくつかの例会風景をダイジェストします。

八月の納涼例会では、三光園で持ち出し例会を行い、ゲストに元RCのL山口毅をお招きし「人は人を浴びて人となる」と言うテーマで話を聞きました。ビジネスには如何に人の繋がりが重要であるかと言うことを自らの体験談を通じたお話を聞きました。

十一月には、例会場が同じ八仙閣と言うことで、鴻臚館LCとの合同例会では、4R1Zの加治接



執ZCに「ワインについて」の話を聞きまし  
た。ワインの歴史からその味わい方まで一冊の本になるくらいのお話をコンパクトにまとめていただきました。高価な各種ワインをご提供いただき、和気藹々と食事にも一段と花を添えていただきました。  
十二月には、福岡博愛LCとのクリスマス

ス合同例会を行い総勢八十五名と賑やかな例会となりました。ゲストスピーカーとして日銀の河野圭志福岡支店長に「金融経済概況」と題して、一番関心がある問題を聞きました。現下の世界の金融恐慌の状況をわかり易く整理してもらいました。食事の後に持ち寄った品物を、チャリティーオークションをして盛り上げられました。

去る二月七日には、例会振り替えて、視力ファーストII

キャンペーン賛助企画としてチャリティーコンサートを大名町カトリック教会大聖堂で開催。教会の凛とした雰囲気の中で、三年続けてご好意を寄せてもらっている電子オルガン奏者清水のり子さんはじめ、ソプラノ

歌手・チェロ・ファゴット奏者に来福いた  
だき三百三十名の来場者と楽しむことが出来  
ました。多くのライオンズ会員にもご参  
加賜り厚くお礼申し上げます。

二十名前後という少人数の倶楽部ではあ  
りますが、二名の新しい会員を含めて楽し  
い例会へのチェンジにギアが入っています。

## 幹事として

幹事 L永井 光清

二〇〇八・二〇〇九年度の幹事を引き受けて早半年が過ぎました。会員の皆様から推薦を受けたものの、入会四年目の私ごとき者が、幹事としてやっていけるのか、かなり不安と緊張がありました。幸いなことに、会長のL津田恵美子の人柄と会員の皆様の温かいご協力に助けられ、例会やアクティビティを気軽にこなせる自分に驚いています。幹事をやらせて頂くことにより、否応なしにライオンズクラブを理解せざるを得なくなりました。今まで社会人として私なりに、ボランティアをして来たつもりでおりましたが、ライオンズクラブ独特の奉仕の精神に触れ驚きと感動を禁じ得ません。プロトコールに代表される様々な決まり事を詳細に見ていくと、そのこだわり

オンズクラブは歴史と伝統に裏付けされたものがあり、世間一般のボランティア団体とは様々な面で一線を画していると確信しています。今後ともライオンズクラブに対する理解を深め、会員としての自覚と矜持を身に付け行動して行けたらと思っています。

にも世間一般には理解出来にくい部分もあるように思いますが、それが正にライオニズムなのだと感じております。

世間にはいろんなボランティア団体があり団体の規律・行動の規範となる会則がある訳ですが、ことライ



福岡花ライオンズクラブ

## 青少年健全育成チャリティゴルフ大会

財務・計画委員長 L山道 千エ子

私達、福岡花ライオンズクラブでは、青少年健全育成のアクティビティの一つとして、「中・高校生弁論大会」を、継続事業としております。

中・高校生各二名の最優秀者には、二泊三日の韓国研修旅行があり、韓国の歴史を学んだり、ソウルの明文化院に於て、韓国の学生達と交流を深め、国際親善の役割も担っています。

又、弁論大会入賞者達による「若き弁士達の集い」も、弁論のみにとどまらず、次世代を担っていく若者達のネットワーク作りとして継続されています。

このような重要なアクティビティの一つである資金獲得事業を、今期はゴルフ大会でやるということが、理事会で承認されました。しかし、私達クラブのゴルフ人口はわずか二〇%、ルールもよく分からず、又、二百数十名の参加者をどのようにして確保していくのか、少ない予算の中で賞品決めは、会員の方々から沢山



心から感謝致します。 「ツイ、サーブ」の精神をもって、積極的にボランティア活動に参加するとの意義を改めて学ばせて頂きました。最後にりましたが、この紙面をお借り致しまして、ご協力戴きました他クラブの皆様方に心から感謝致し、厚く御礼申し上げます。

の協賛品をご提供戴きました。平成二十年十二月二日火曜日、前原市のザ・クイーンズヒルゴルフクラブで、参加者五十三組、朝七時二十五分スタート、心配されていたお天気も、快晴に恵まれ、日の出から日没まで、お陰様で、無事、盛会に終わることができました。

始めは分からないことばかりでしたが、ゴルフクラブの関係者の方々や、福岡花ライオンズクラブのメンバーの方々に助けて頂きながら、綿密な打合せを何度も繰り返し、本当に楽しい、貴重な体験をさせて頂いたことに、

福岡ファイブティールライオンズクラブ

## 知的障がい者を迎えての新年例会

YCE・レオ委員長 L松浦 康道

福岡ファイブティールLCでは、社会奉仕として、結成当初より「老人に優しい町作り」をと考え、公園やバス停などにベンチを寄贈して参りましたが、資金的な活動のみにとどまらず、地域に密着したアクティビティは無いかと考え、数年前より、障がいを持った方との

触れ合いを基本とした活動を行なっております。内容といたしましては、毎年九月に久留米総合スポーツセンター陸上陸上競技場にて開催される障がい者の「ときめきスポーツ大会」に参加賞を寄贈。また、大会当日は、入賞者への金・銀・銅メダルの授与をお手伝いしています。



また、今回は一月二十七日に、佐賀県久保田町のNPO法人「久保田サンハウス」の子どもたち(十九歳〜二十二歳)六名を招待し、海の中道マリンワールドへ行きました。マリンワールドでは、みんなでお弁当を食べて、イルカショーを見学し、お土産を買ひ、記念撮影をしました。子どもたちは終始にこやかに過ごしていました。その後、夕

より、親・兄弟・子クラブの方を招いての例会にて、子ども達へ電子ピアノ二台をプレゼントしました。その際、子ども達の代表として、深川隆史君(二十一歳)が言語障がいが発声し上手く出来ないながらも、一生懸命感謝の言葉を伝えてくれ心温まりました。

本当にやってみると実感しました。これからもずっと温かい触れ合いを続けていきたいと思ひます。

※同日の夜、マリンワールドにて水族館では国内初の第四世ラッコの赤ちゃんが誕生しました。何日かずれていたら子ども達に見せられたのになあ・・・残念

## 私のオススメ健康法

L 村田美生子



三百六十五日泳いでいる吉永小百合様を目指して始めた水泳。ヨガにエアロビクス、健康の為に

色々な運動をしています。なかで今一番のお気に入りは「太極拳」です。太極拳は、動きの中に呼吸法を取り入れた気巧の一種「動気巧」で気を整え、気の質を高め、健康な状態や健康増進をはかる中国武術です。呼吸法を特に意識しなくても、静かに呼吸をしてゆっくりとした動きの型を覚えれば、気の巡る呼吸になるのも、太極拳ならではです。

気が巡ると副交感神経の働きを高めるし、有酸素運動だから脂肪を効果的に燃やす。新陳代謝が活発になり美肌効果も期待できる。動きは腰を軸とした円の動きで、絶えず重心が移動する全身運動で、優雅な動きの中に意識を集中して行うので、脳が活性化され血行もよくなり、大きくゆつくりした



運動なので足腰も強化され、老化防止、疲労回復、体質改善などにも効果がある。太極拳を終える頃には、冷えていた手足が熱くなるのは間違いなし!! 等々、良い事尽しです。

年齢、体力に関係なく初心者でも無理なく始められるので、これから何か始めてみたい方にもオススメです。

## 感謝の心

L 山岡 巖

ありがとう

五月の暑い日、私は学校から友達と二人で帰っていました。途中、道でお年寄りが荷物をたくさん抱えていて大変そうだったので、声をかけました。「大丈夫ですか。大丈夫よ、ありがとう。」私たちはお年寄りの荷物を一個ずつ持つことにしました。

その間、お年寄りは、私たちに「ありがとうね、ありがとうね」と何度もお礼を言いました。その嬉しそうなお顔をみた時、私たちがまだ何だか嬉しくなりました。私の中の「思いやりのこころ」がふくらみ始めました。その時、どんな小さな親切でもいいから自然にできる人間になりたいと強く思いました。そして何よりも素直に「ありがとう」と言える人間になりたいと思いました。

お年寄りの教えてくれた「ありがとう」のあいさつは、心を癒す言葉で、人と人を結ぶ温もりを感じさせることに気がつきました。

この文章は、息子が通う高校の生徒作品集に載っていたものの抜粋です。

いつの間にかこんな文章が書ける人間に成長したかと驚かされました。先日、羽田に向かう電車内でのこと。途中の駅で乗車した初老のご婦人に対し、息子が急に立ち上がり「どうぞ」と声を掛けました。いつもは勉強がらいな「どら息子」の行動にビックリ。これまで学校をはじめ、クラブ、親戚、ご近所の方などから支えられ、成長してきたことに感謝で一杯です。

私は、会計事務所の前をこえた社会貢献の第一歩として、先頃初めての経営者塾を開催しました。自分の考えや失敗談を表現することで、同席者に共感や気付きを与え、散会するときの皆さんの笑顔がとても印象的でした。私自身も大変勇気づけられました。

ライオンズクラブの活動を通じてこれからも感謝の心と奉仕の精神を持ち続け、それを表現していきたいと思っています。



## 初めてのPR誌を作成して

「山田 修」

昨年、福岡市里親会（通称つくしんぼ会）からの依頼で「里親制度支援事業」PR誌を作成する事となり、実行委員長に指名されました。

「福岡市里親会」とは福岡市の認定里親さんの集まりで、日々、家庭の中で子供の事を思つて子供達と向かい合つて共に生活をしている方々です。詳しくはPR誌を御覧下さい。

LCに入会して初めて実行委員長に任命され、何から取り掛かつてよいやら何も分からず戸惑っている時に先輩より委員会の立ち上げ方・運営方法をアドバイスして頂き、ようやく委員会を立ち上げる事が出来ました。



運営委員会でもスケジュールの確認やPR誌の表紙・構成・企画等、多くの先輩に助けられ、一応の形が出来上がり、いざ本番の広告協賛に於いても先輩の偉大さに感心させられました。知人・友人は問わず取引関係の方々にも声を掛けて頂き目標達成の為に尽力して頂きました。本当に感謝の一言に尽きます。この

場をお借りして協賛頂きました方々に感謝とお礼を申し上げます。

製本され出来上がるまでに色々な不安がありました。自分達の思いが伝わる内容に出来上がっているだろうか？手にとつて読んでくれるだろうか？読んでくれた方々がどんな反応をしてくれるだろうか？と・・・

十一月末に出来上がった真新しいPR誌を手にとつた時の感動は今でも鮮明に記憶しています。なぜなら、自分達の思いが十分伝わる内容に出来上がったからです。これを見てくれた方々は必ず共感して頂けると思える仕上がりでした。2Rのクラブには全員、他Rのクラブには三分、五部（総数二千部）を配布させて頂きました。皆さんがこのPR誌に目を通し

て頂き、今現在の福岡市の子供たちの状況を理解して頂いて、私達に今何が出来るのかを一緒に考えて頂ければ幸いです。福岡赤坂LCでは今後もこの事業を継続して行きたいと思っておりますので、今後ともご協力とご支援をお願い致します。

## 『福岡文化ライオンズクラブに入会して』

「林田 俊一」



私は、今年の一月に入会させて頂きました、林田と申します。L許斐との出会いから、

何も解らないままの入会でしたが、『入会式』や月二回の『例会』またはチャリテイ行事の『つばさ少年少女合唱団演奏会』、『ゴルフコンペ』などに参加させていただきながら、諸先輩の方々の暖かい応援のもと、今後ライオンズクラブの中で私に何が出来たのか、どの様に関わっていけば良いのかがすこしずつではありますが見えて来たような気がします。

しかしながら、ライオンズクラブの精神を本

当に理解する為にも、諸先輩方のご指導を仰ぎながらご迷惑の掛からないよう、努めてまいりますと思ひます。それとまだ一ヶ月しか経っていませんが、はっきり言える事が、二つ見つかりました。一つは、福岡文化ライオンズクラブに入会でき、嬉しく思つてい



福岡文化ライオンズクラブにどれだけ貢献出来るかは解りませんが、微力ながら一杯奉仕活動に参加してまいります。ご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。

## アミカス日本語クラス支援

会長 L岡野 暢徳

昨年の六月三十日にNPO法人アジア女性センター主催、アミカス日本語クラスの訪問を致しました。福岡大名ライオンズクラブは、福岡に來日して言葉の壁に閉ざされて仕事や生活、環境に馴染めず悩んでいる外国人の方々に日本語や日本の歴史、習慣を教える教室（アミカス日本語クラス）を支援しています。

福岡は近年、東南アジアの窓口として開かれており、国際都市的発展が期待される一方、行政の対応が遅れている中で諸外国人の来日は増大して、色々な問題が発生して居ります。家庭の主婦が中心で、十二年間の長きに渡り続けられているこの奉仕活動は、村上代表をはじめ十一人の日本語スタッフと幼児保育スタッフで構成され、現在二十三ヶ国、五十三名の生徒達を五つのグループに分けて、毎週月曜日に勉強会を開催しています。前会長との引継ぎでの訪問は、勉強会と料理教室の見学をして各国の珍しい料

理の食事会を経験しました。

今年も、新年のお楽しみ会に当クラブの会員十名が参加して、和やかな国際交流が行われました。全世界がこの未曾有の大不況の中、生徒達も日本での生活は大変苦しい事と思いますが暫しの憩いを求めて、終始笑顔で覺えたての言葉で語り合い、心より楽しんでる姿に接し感銘を致しました。福岡大名ライオンズクラブには今年で二年目の新しいアクティビティですが、クラブ内の理解を深めて支援を続けて行きたいと思えます。



## 結成三年を迎えた福岡平和LCレオクラブ

YCE・レオ委員長 L鷺巢 信男

レオクラブの目的は、青少年に指導力、経験、機会を与え、個性豊かな人間に成長させるための奉仕活動を推進し、会員の間に友情・親善および相互理解の精神を育成することである。

福岡平和ライオンズクラブのレオクラブも結成三年を迎え、会員は日々の生活の中から、又武術の鍛錬を通じて、いかにして地域社会への奉仕が出来るかを考えながら活動している。将来のライオンズクラブ員として成長していく事を期待するものである。

次に現在までの活動をレオクラブ会長より報告致します。

### 福岡平和レオクラブ活動報告

レオクラブ会長 馬場 衛

私たち福岡平和レオクラブは、この一年を通していろいろな経験をつむことができました。

会長の馬場は韓国の研修会に行かせてもらい、日本と韓国の交流を深めることができました。さらに天神での「麻薬防止活動」や「募金活動」などの活動を行いました。そして私たちのクラブは、なるべくそういった活動に参加するように心がけてきました。しかし今の現状として、クラブの集まりがうまくいかず、当初計画していた活動を全て実行することはできませんでした。このことを踏まえて今期の計画は確実に実行できるように頑張りたいと思っています。我々のクラブは少林寺拳法と並行して活動しているので、少林寺拳法の中でできる活動を考えながらクラブの活動を徹底していきたいと思っています。そして、前期に計画していた活動が確実に出来るよう考えながら、新しい取り組みや活動を取り入れて私たちのクラブを活性化させていき、地域や町の方々に貢献できるようにクラブ一同が責任を持って行動し、奉仕活動に邁進していきたいと思っています。我々福岡平和レオクラブは、結成して三年になりますが少しずつながら成長してきました。これからもさらに成長して有意義な奉仕活動ができるように努力していきたいと思っています。

絆

川下 千鶴

私のライオンズクラブの提言は「絆を強め楽しく奉仕」です。まもなく二十を迎えようとするこのクラブに所属して数年が過ぎました。年次行事も十年単位で進みます。その歳月はゆうにいいない絆がともなっています。

「絆」とは馬、犬、鷹、等をつなぎとめる綱。転じて断とうにも断ち切れない人の結びつきとある。すぐに結べる紐でも、縄でもない結びがたい綱である。人それぞれに絆は数々あるでしょう。きつと暖簾のようにぶらぶらと下がりばなしか、又、ある人はしっかりと結び終わっているかもしれない。私は同クラブの人から自分の人生を歩いてくるなか、三人の人のめぐりあいによって今日があるという、お話を聞きました。羨ましく思います。その折々しっかりとした絆が結ばれ大きな大きな結び目が三つもあるということです。みえないこの「絆」これは人の心でしょう。人の心はむつかしいものです。それにはまず尊敬される人格者のめぐり合いとおもいます。かたぐるし

いばかりでなくユーモアあり笑顔あり利口であり馬鹿をこなせる人でしょう。私も早く私の人生の道をおえてくれるほどの人にめぐりあいたいと願います。年齢もあわてる年になりました。同ライオンも約三十名しっかりと誰かに結びとめてもらっているのか、誰を結び留めようとしているのか、折々の自分を見つめてはいるが、つまらぬ煩惱に振り回されながらの揺れる心でいます。絆とはいくつあっても良いでしょう。結べるものならやつぱり堅い硬い絆でありたいと思います。



「小豆島ライオンズクラブ45周年記念例会に参加して」

篠崎 久義

平成二十一年二月十日、小豆島ライオンズクラブと当若杉福岡ライオンズクラブが姉妹提携を結んでいることから、小豆島ライオンズクラブの「四十五周年記念例会」に出席するため九名で小豆島を訪れました。私は小豆島に対して、小さな島というイメージを持っていましたが、小豆島土庄港に着いたとたん、何と大きな島なのかと自分の目を疑いました。人口は？と聞いてみると、三万二千人、最大では六万人を数えたという。小豆島の産業はオリーブと醤油、そうめん、そして観光です。

私達は、小豆島ライオンズクラブの方々の案内で、ごま油工場・オリーブ工場を訪れました。そして五年前ライオンズクラブの手で植栽されたオリーブの森を視察し、昨年からオリーブの実がついているとの報告を受け、参加者一同感激し、オリーブの木の前で記念撮影をしました。それから、島のはずれにある小さな岬の分教場、映画「二十四の瞳」の舞台である小さな学校を訪れました。昔をしのばせる教室が再現されていて、しば



し童心に帰った気がしました。翌日二月十一日、例会です。四十五周年の記念すべき例会なので、香川県内各ライオンズクラブからの出席があり、盛会でした。開会ゴングで会が進められる各報告のなかで、小豆島ライオンズクラブの四十五年の歩みがスクリーンに写し出されました。クラブの仲間すべての人に共通している、小豆島を愛する心が私にも伝わってきました。この島・この町の町づくりに、地域おこしに努力されています。特に、青少年の健全育成が目につきましたが、青少年を育てることが今後のボランティア活動を支えています。そして小豆島ライオンズクラブの発展につながっているような気がしました。

私にとりまして、今回の訪問はボランティアの良さを、町づくりを再考する一助になり、さらに今後の粕屋町づくりに努力する所存です。ありがとうございました。参加の皆様お疲れ様でした。

## 三十年余りを振り返って

上川 安孝

壱岐ライオンズクラブが誕生して早三十年になるうとしています。

「思い起こせば、L末永に「ネクタイをして来い」と言われるがまま行ってみると、クラブ結成準備の会合の場でした。大変なところに来てしまったと思った事を思い出します。そこには福岡鶴城LCのL森、L新開、L梅居がいらっしやっただと思いません。

今では当時のことを語り合えるのは、二人になりました。

この三十年余りライオンズに在籍させていただいた間、いろんな人々との出会いがありました。Y Eでの長男のオーストラリア留学、ケイ・マンズという女性のホームステイ受入、対馬ライオンズクラブのL岸原の御長男（オーストラリア在住）の所への長女のホームステイ。このことが切っ掛けで、現在娘は国際結婚をしてブリスベンに住んでいます。

思えば、ライオンズクラブを紹介しての出会い、私自身の宝物になっています。

奉仕・育成活動、例会の出席、会員相互の意見交換等は自身の勉強に成っていることは言うまでもありません。

この不景気で、結成当時四十四名だった会員数が今では十六名になっただけでしたが、壱岐ライオンズクラブが一番に掲げている青少年育成事業（シジュニアパーレー・ソフト・野球・剣道）への支援を継続は力と信じ、これからも続けていきたいと思っています。

## ライオンの仲間となり

西牟田 弘也

「人は石垣、人は城、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」武田信玄の言葉である。戦国武将がもつとも苦労したのは、家臣たちと人民の心をつかむことであつた。それは背景の違う今でも変わらない。政治家は民衆の心を、上司は部下の心を、男は女性の心をつかもうと躍起になり、それによって相互に理解し、人の心をつなぎとめ、心のつながりを持つことができれば、だれにも崩すことのできない堅固な石垣や城ができる。

ライオンズに入会して約一年と短いなか、例会出席や様々な活動を体験して、入会前との認識差は大きいものがあつた。いつでもクラブの諸先輩から、思いやりと気遣いを持って、暖かい心で接してもらっている。仲間になれることのうれしき、財産なり！感謝！人とのつながりを大切にして、多くの人々と誠意をもって接して欲しいと思う。

私は人生を楽しむだけ楽しんでいこうと考えていた。仕事にして

も、家庭生活も、スポーツや遊びにしても、すべてに楽しみたいのである。人生、そんなに楽しいことばかりでないのは百も承知してきた。今も百年に一度という世界不況の中で四苦八苦している。

しかし、発想の転換といえればキザだが、ノーテンキの自分は、面白くないとか、大変だとか、口では言いながら、心の中ではないことも「すごい。こんなことしているのは俺だけか。どうにかなるさ」なんて楽しんでるのだ。

さらに、ライオンズの一員になり、今までになかった新しい経験とやりがいができる機会を与えてもらったこと。ライオンズの仲間と接して、心のつながりを持つ地域や国境をも越えた人の城、人の石垣をみる事ができる。楽しみを数多く見つけた。

そして、「私も、ライオンズの石垣のひとつの石となれた。」なんて、格好よく決められたら、最高に楽しく幸せである。



かすや南ライオンズクラブ

## 献血奉仕活動

視聴力保護・献血・環境委員長 L大坪 哲朗



冬、二月毎年の事ながら、一年の中で一番寒い中、私たちかすや南ライオンズクラブは、献血奉仕を行っております。

今年も二月五日に、宇美町役場「多目的広場」において開催いたしました。約一ヶ月前から準備をし、一週間前にはチラシの配布、ポスターの掲示を行います。

この献血は、クラブ単独で行う為人集めに大変苦勞しますが、会員一人一人が自分の会社の従業員に声をかけ、また、来社される取引先の方々にも声をかけて頂き、クラブの中で最も重点を置いている「アクティビティ」を成功させています。献血当日は、会員一丸となって、早朝より献血会場に入り、ポスターの掲示、横断幕の吊り下げ、お土産の卵の袋詰めなど、忙しく動いてくれています。

このような大きな事業をするとき、わが、かすや南ライオンズクラブ



卵の袋詰め

ブ会員の結束の強さには、本当に感心いたします。この力強い支えがなければ、事業委員長の勤めは出来ません。これからも、地域に根ざしたアクティビティを続けていく為に、皆様のご協力とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

今期も後、わずかになりましたが、今年度行いました、事業にご協力頂き心より感謝申し上げます。

宗像ライオンズクラブ

## 「今年度事業を振り返って」

情報・PR・IT副委員長 L水田 雅樹

私も宗像ライオンズクラブは、青少年育成を重要な事業と考え取り組んでいます。その中で、昨年度から『青色灯パトロール』と『薬物乱用防止教室』開催の二つの事業を行なっています。『青色灯パトロール』はクラブ員所有の自動車三台をパトロール車として警察署と陸運事務所に登録して定期的に宗像市内を巡回しています。

特に小中学校を中心として下校時に巡回パトロールしています。警察署の方によりますと、青色灯パトロール車が通るだけでも防犯の効果があるそうです。また、『薬物乱用防止教室』は会長L薮野が平成十八年に薬物乱用ダメ・ゼッタイ運動に参加されて薬物の怖さを知り、平成十九年に『薬物乱用防止教育講師養成講座』を受講されて、何かしらないといけないと強く感じられてから始められました。



用少年検挙補導は二十二人で、前年に比べ五人増加し全国ワースト第三位です。年齢別では、シンナー等乱用で検挙補導された少年の中で二十一人が中学生、二十人が高校生です。会長L薮野は、これらの薬物がどれだけ心と体をぼろぼろにして、自分の人生を破壊し、まわりの人も傷つけ犯罪をも引き起こしてしまう。一度でも薬物を体の中に入れる事で、将来取り返しのつかない事になる。という事をどうにかして、子供達に伝えなければいけないとの思いで、今までに小学校五年生を対象に四校実施されました。子供たちは真剣に聞いていました。また、実験を行いシンナーでカップ麺の容器が直ぐに溶けてなくなるのを見て驚いていました。学校でも授業で話をしているそうですが、このような外部からの話や実験は初めてだそうです。

福岡県は、シンナー等乱用少年の平成十九年検挙率補導は百九十八人で、前年に比べ五十八人減少したものの、八年連続で全国ワースト第一位となっています。覚せい剤乱用少年検挙補導は二十四人で、前年に比べ十人減少し、全国ワースト第四位です。また、大麻

『薬物乱用防止教室』を繰り返す行い、家庭でも親子で話し合い薬物は絶対やらないと心に誓ってもらえば、誘惑に乘らない様になるのではないのでしょうか。以上、会長L薮野の言葉をお借りして、事業を紹介させていただきます。

## 「YCE 派遣生帰国報告」

2008-2009 冬期派遣生 松本好弘

今回寄稿を依頼させていただいた松本好弘君は、2009 YCE 冬期派遣生として、福岡桜LCのスポンサーにより、マレーシアに派遣されました。松本君は派遣生の代表として様々にリーダーシップを発揮された将来を嘱望される西南大学二回生です。

去る二月十七日に挙行された福岡桜LC二十周年記念祝賀会に、私同様招待を受けられ出席していた関係で、臨席していた徳永P.R・I.T・ザラタ編集委員との会話の中で、YCE事業のオリエンテーションを含めた、派遣事業に対する、率直な意見を文章にして貰えないか？また、それをリジョン誌に掲載してもらえないか？ということになりました。福岡桜LCの伊藤敦子会長には後日お電話で快諾いただいた次第です。

今回の意見をこれからのYCE事業の中に生かしていきたいと考えています。そして会員の皆様には、今後の問題提起の一考としてご理解いただければ幸いです。

YCE委員 L鹿島紀夫 (福岡NOZLC)

私は、冬期YCE事業でマレーシアに三週間派遣させて頂きました。この報告では、私のYCE派遣での研修や実際に行ってみて感じたことについて述べます。



まず、派遣前での研修は、英会話、茶道、テーブルマナー、お寿司の作り方、折り紙、マジック、礼儀作法などといったジャンルに富んだ内容が組み込まれており、なかなか経験できないことで非常に楽しく学ばせてもらいました。ここでの体験は、実際に現地でもとても効果のあるものでした。特に、私は九州地区のリーダーだった為に、マレーシアのLCメンバーの前でスピーチする機会が何度かあり、その際のメンバーの代表としての私の振る舞いが日本人の印象になるので、研修で礼儀作法を指導して頂いていたことがとて

も役に立ちました。

しかし、気になる点もありました。なかでも日本人派遣生の目に余る英語力に欠ける点です。研修で教わる英会話は、様々なケースを想定したものでとても実用的でした。しかし、基礎的なことから教えてもらうにはあまりに時間が少なかったですし、他の地区においてはあまり研修していない所もあったようです。このような現状があるなら、初めに派遣生候補を選考する際に、ある程度の基準があった方がいいかもしれません。何故このような提案をさせて頂くかといいますと、現実に向こうでホストファミリーが、私達を観光名所に連れて行ってくれた時や文化を紹介する時に、「せっかく説明しても理解してもらえない」と困惑し、通訳を頼まれたからです。私も決して英語に自信があるわけではないですが、ある程度コミュニケーションが出来たおかげで、異文化交流がうまく出来たのだと思います。

また、受け入れ側に喜んでもらうといった観点での提案があります。マレーシアでのLCの集まりで、浴衣などの衣装や茶道の紹介をすると喜ばれました。他にも歌を歌ってくれたとの要望があったので、即興で君が代などを歌いました。が、予め日本の代表的な歌と一緒に歌える歌など用意し、このような形でグループのプレゼンテーションが出来れば良かったと思います。

このYCE派遣生としての異文化交流とは、お客さんとして受け入れてもらうのではなく、「GIVE AND TAKE」の精神で、相手の文化を知り、日本の文化を知ってもらい相互理解を行うことに価値があり、このような相互理解の自覚があれば、受け入れ側の楽しみも一層増すのではなからうかと思えます。

最後になりましたが、学生のうちにこんなに貴重な経験をさせて頂いたのは、LCの組織を支えてくださっている方々の温かいご支援があったことだと改めて感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。今回の派遣で体験したことを今後の人生の糧とし、そして将来はライオンズのメンバーとなり、自分も奉仕の精神のもとに社会貢献できるようにしたいと思います。

これからの更なるYCE事業の発展を祈り報告とさせて頂きます。

# 提言募集!!

【テーマ】

## 「豊かなライオンズ・ライフ」

新たなアクティビティの可能性、ライオンズの魅力、クラブの現状、将来像など多角的な視点から、豊かなライオンズ・ライフについて提言をお願いします。

「ふくおか2R 夏号」特集ページ(交流ひろばではありません)で20編以内掲載予定。

【応募要領】 氏名・クラブ名ご記入の上、1,500~2,000字程度の原稿と顔写真を合同事務局宛てFAX又はメールにてお送りください。

FAX 092-771-9676 e-mail daimyo@337a2rlions.com

【締 切】 平成21年 5月15日(金)

\*応募多数の場合は、PR委員会により協議し選考させていただきますのであしからずご了承ください。

## 「ふくおか2R 愛読者プレゼント」

ライオンズアンティークバッチ 3種セットを20人の読者に!!



【1916年】

コンパスと定規が描かれた、このロゴは、草創期のライオンズとフリーメイソンの関係を明示している。



【1918年】

この初期のロゴでは、視覚的なだけじゃれ「ライオン(Lion)と棍棒(Club)」に注目してもらいたい。



【1920年】

この「L」の頭文字と背中合わせのライオンを組み合わせた図案は、現在のロゴの基礎となっている。



◇応募要領◇

氏名・クラブ名を明記し、希望するに○をして、ライオンズクラブ2R合同事務局宛てにFAXしてください(FAX:092-771-9676) 締切は4月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせていただきます

会員名		クラブ名	
-----	--	------	--

希望する

# ◇緊急レポート◇ 『全国ライオンズ若手会員フォーラム』に参加して

PR・IT・ザラタ編集委員 L徳永修一郎(福岡大名LC)

東京都中央区銀座ラフィナートにて

去る三月六日、七日の二日間、ライオン誌日本語版委員会主催で開催された「ライオンズ若手会員フォーラム」は五十歳未満の若手ライオン約五十名(うち337-A地区二名。337複合地区二名)が参加し、私には予想以上に有意義な集いであった。このように催しは過去になかったと思う。3RのホープとされるL佐竹信介(キャビネット副幹事/田川LC)と一緒に参加されていたのは心強かった。

初日に、開会までのルールとして次のような説明があった。

【指示があるまで名刺交換をしない】

【名札に自分のニックネームを記入する】

これらのユニークな仕掛けは後になってその理由がわかるのだが、さらにグループ・ディスカッションのルールとして

【ニックネームで呼び合う】

【人の意見を頭ごなしに否定しない】

【結論を出すことにこだわらない】

と、成程と思える三つの条件も提示された。

そこで七、八名のグループに分かれてのディスカッションが始まるわけだが、最初の自己紹介で、私は「趣味はライオンズの変革」と答えて隣の女性ライオンにドン引きされた(汗笑)。しかし、無理やり勧められて参加しているライオンは全体の一割程度で、殆どの参加者はライオン誌を見て自発的に集まっただけにモチベーションは高かった。博多祇園山笠ふうに表示すると、皆「ライオンのぼせ」なのだろう。

セッションのテーマは「新たなアクティビティの可能性」と「豊かなライオンズ・ライフ」の二つで、各テーブルを受け持つファシリテーター(発言を促したり、話の流れを整理して協働を促進する役割)のもと、活発に意見交換された。各グループの意見を大きくまとめると、前者は「マンネリ化したアクティビティを、時代に即した、本当に必要とされるものに切り替えていくことが重要ではないか」、後者は「社会奉仕の喜びや先輩ライオン達からの教え等様々な経験により自分が成長できること」に集約され、それを実現する方法として「まず自分達がライオンズのルールを理解し」、その中で「自由に討

論や意見交換が出来る場の創設が急務であり、これがライオンズ・ライフを楽しむ秘訣」  
「子供達に豊かな未来を残せる夢を持ったアクティビティが必要」ということだと思っ  
た。それはまさに前回レポートした小金丸滋勝キャビネット幹事が「地区新会員研修会」  
で講義された「ライオンズの本質」に合致した意見そのものであった。

また「二十年後のライオンズ像」に関しては、誰もが深刻な危機感を持っている反面、  
明るい未来を模索するビジョンも提示された。

短いフォーラムの期間中、特に注目したのが以下の三名の発言であった。

【ジュニアクラブ】L齋藤晃(茂原中央LC)談

「高年齢化の中で若い会員と(既存の会員の)会話が成り立たない。そこで、毎回ガ  
バナリ諮問委員会で訴えかけて、入会基準を二十歳から三十五歳までに制限した(リ  
ジョン単位で)支部を今期中に立ち上げることにしました。自分の子弟や会社の後  
継者も含んだ、若いメンバーだけで、新しいアクティビティを模索しながらライオン  
ズを勉強していただくこと。親クラブのお手伝いをしながら、徐々に覚えて(ライオン  
ズを理解してもらって)運営指導は茂原中央LCが中心になってやるんですけど、各  
クラブにも賛同していただきました。

『親父がライオンズに在籍しているうちは俺は入らない』とか多いですからね。二代  
目がいざ入会しようとするが高齢になってしまったり。それが解消できるわけ  
です。YCE事業やレオクラブの活性化、高齢ライオン退会後の引き継ぎにも繋がるも  
のです。つまり多くの会員の子弟(レオ・YCE生等)を事前に囲い込み、ライオン  
予備軍として育成するという考えもあります。

他のクラブからお預かりしたジュニアはやがて帰っていただく予定ですが、新たに  
エクステンションしても良いし。今、若手を育てなければ、二十年后にはメンバーが  
居なくなっちゃうでしょ。これは我々四十代、五十代のメンバーが作っていかなく  
ばいけません」

【インターネットクラブ】L林田吉博(芦屋東LC)談

「大学生(二十歳以上)を対象として、ネット会員による神戸新世紀LCを立ち上げ



L. 大野元裕 (川口LC、父上は元国際理事L. 大野元昭、中東情勢専門家、数々の著作があり、TV・ラジオに多数出演)のポイントを押さえた司会により、ディスカッションは有意義なものとなった。司会者もパネリストもすこぶる優秀で魅力的な方々でした。

以下はフォーラム終了後のL. 大野元裕談

「今回のフォーラムの特徴は、単純な講義形式ではなく、クラブの垣根を越え、役職等を伏せたままに相互の意見交換を図り、見解を集約することにあつたと思います。僭越ながら、この手法は、小生が講師を務めた講師育成セミナー(FDI)の手法を取り入れたものであり、それゆえ、議論をすることに慣れておらず、ライオンの将来について愚痴や飲み会の席ではなく、真剣に意見をぶつけ合う機会が多くない方々の参加意識を喚起したものと自負しています。このようなフォーラムの継続を強く望みます。」



今回フォーラムのお世話役の方々。左よりL. 志賀重信(塩釜LC、332-C地区全国最年少ガバナー)、L. 後藤忍(函館グリーンLC、元ガバナー、東日本エリアGMTリーダー)、L. 高田順一(富山昭和LC、元ガバナー、西日本エリアGMTリーダー)、L. 団英男(神戸レインボーLC、RC、父上は元国際理事L. 団忠夫、ライオンズに於けるアングラ組織を得意とする)  
※アンダーグラウンド=前衛的・実験的・裏社会



グループ・ディスカッションで発表するL. 佐竹。翌日のパネル・ディスカッションでは、LCTVCMの可能性を質問した。



左「ジュニアクラブ」発案者L. 斎藤晃(茂原中央LC)、右「平均年齢38才」の山梨アカデミーLC創立会長L. 川手寅平(330-B地区前青年アカデミー委員会委員長※青年部)

準備をしています。(山梨アカデミーLCも新しいクラブなので)スポンサークラブとして

例会も普段着で参加して、我々が出来る奉仕をしようという呼びかけをしたら大勢の方が賛同していただけたと言っで、それでまた新たにエクステンションしようかと思っでいます。ライオンの子弟も「既存のクラブには入りたくない。ポマードの臭いのする所には行きたくない」と言っでいるし(笑)

新クラブは、ある高校同窓会のOBが十七、十八名集まっでエクステンションの準備をしています。(山梨アカデミーLCも新しいクラブなので)スポンサークラブとして

希望の光を発見したように思えた。

今回のフォーラムを通じて、初めて出会ったライオン達、胸に共通のバッチを付けているだけで、別れる時は一つの熱いクラブ(塊)みたいになつた気分では嬉しく思っで、様々な場面で厚い壁を感じる現行のライオンズの仕組みではあるが、私は何か小さな

【平均年齢三十八歳のクラブ】L. 川手寅平(山梨アカデミーLC)談

「昨年八月平均年齢三十八歳の山梨アカデミーLCを結成しました。二十七名でチャーターして、現在までに二十名の会員を増員した。若い会員が多い(お金がかかることは受け入れてくれない)せいか、月会費は五千円で運営しています。低会費の種明かしは例会場がデイケアセンターで、調理室を貸してもらる為、各自が米・肉・野菜持ち寄りで毎回カレーライスを作っています(笑)

会員の招請方法ですが、入会までは「LC」だと言っことは秘密にして「毎月五千円の会費で、こういうボランティア団体があります。協力していただませんか」と誘っでみると、結構賛同を得られます。但し、新会員は例会に参加した途端に、LCに入会してしまつたことを初めて自覚し、三歩位引きますがね(笑)：名付けて新興宗教勧誘方式、狙うは一般サラリーマン。

会員の招請方法ですが、入会までは「LC」だと言っことは秘密にして「毎月五千円の会費で、こういうボランティア団体があります。協力していただませんか」と誘っでみると、結構賛同を得られます。但し、新会員は例会に参加した途端に、LCに入会してしまつたことを初めて自覚し、三歩位引きますがね(笑)：名付けて新興宗教勧誘方式、狙うは一般サラリーマン。

の資金はないが、リジョンやゾーンは会員増強にやつきになつてるので資金面でサポートしてくれます。そういう意味ではどんだん若者のクラブをエクステンションしていけばライオンズは変わつて行くと思っでいます」

等々楽しさの中にも非常に刺激的なディスカッションが終わり、懇親会に移るのだが、ここで初めて名刺交換を許された。そこでようやく名刺交換をさせない理由が解つた。役職にこだわらず自由な討議をさせる為なのだが、何と若手会員に交じつて意見交換していた一人が、今期若干四十九歳で332-C地区ガバナーに就任したL. 志賀重信(塩釜LC)だつたのだ。これには参加者全員驚いた(笑) 現役のガバナーである。主催者の粋な演出の効果はテキメンで、志賀ガバナーは皆から笑顔と拍手で再度迎えられた。

多くのライオンと名刺交換したが、現役会長をはじめ、地区委員長、キャビネット副幹事、地区委員等若手の中にも(役職者が)かなりの割合であつたのにも刺激を受けた(他所は進んでるなあ)。また懇親会の最中に「徳永さん!!『2ちゃんねる』で投稿している方でしょう。話を聞いて判りました」と指摘されたり(驚)で、二次会・三次会も盛り上がり「この五十人の中から将来国際会長を出そう!!」等威勢の良い発言もあり会場は大いに沸いた。

最後に、二日目のパネル・ディスカッションで、お世話役のお歴々から若手会員に対して頂いたメッセージをご紹介します。

○LCはグローバルに社会を啓蒙する団体です。

○まずはクラブ会長を経験してください。一番楽しかった思い出ですよ。また役員に指名されたら喜んで引き受ける事が大切です。

○もつとライオンネットを活用して全国のライオンと情報交換してください。ネットを使っての全国的なアングラ（地下・非公式）の盛り上がりを期待しています…もちろん直に会って対話する事も大切ですが…

○ライオンズに所属する世代は大きく分けると、戦前派、戦後団塊の世代、そして貴方達に分けられると思います。中間の団塊の世代は両方の意見が解るんですね。（単一クラブが）皆さんの価値観を吸い上げて、団塊の世代がもつと勉強して、戦前の方が意識を変えたクラブは成功しています。その三つが揃っていないとクラブは停滞する。クラブは、皆さんの突き上げや提案を必要としています。これを話し合ったクラブは、その時点で既に会員増強に成功していると言えるでしょう。独自のオリジナルリティがあるクラブ作りを目指すべきです。現実には（戦前派と戦後団塊の世代は会員増強を）どうしたら良いのか解らないのですよ。

○若手会員が対案を持ってクラブの古参会員に提案をすれば話を聞いてくれます。批判だけではなくて対案を提示し、行動を伴うことが重要なのです。

○日本にライオンズ活動が到来してこの五十年間、どのクラブも（プロトコル・アクティビティ・会費）皆、金太郎飴だった。クラブの（平均）年会費は十五万円だが、それも今は二・四万円から五十万円まで多様になって来た。アクティビティも百貨店並みに存在するが、これからは（会員が減少しているから）今迄通りのアクティビティが出来なくなる。これからは、地域に一つ、世界に一つ、少ない予算でもうひとひねり考えてみるべきでしょう。

○案なのは前年通りの予算で、前年通りのアクティビティをすることでしょうが、これがマンネリ化の原因です。一歩踏み込んで提言してみても同じものでもひねってみれば変化は起こるはずですよ。（豊かな）自分の価値観がその中で見つけられた時、仲間とやって良かったと思うのではないのでしょうか。

○大事なのは、仕事と家庭とライオンズとのバランスですね。

○若手会員にとってみれば（様々に）不満はあるのだろうが、残された時間が短い（自分自身）と考えられている会員の方が、そこに費やしているものは大きいのではないのでしょうか。

○世界共通のライオンズバッヂを付けているだけで、クラブでは兄弟親子の付き合いになります。それが地区の和、日本の和、世界の和に広がる。多くの人と友達になって、自分の財産が増えて、自分が豊かになり楽しむことが出来た事が有意義でした。

○会員がガバナーに直訴するのは認められていません。ルールは、クラブを通じて、ZCやRCを経由して意見を提出します。そうすれば必ずガバナーは回答しなければなりません。

○昔のライオンズ（三十年前）にはステイタスがありました。「いつかはクラウン（トヨタ自動車のCM）じゃないけれど、いつかはライオンズに声をかけてもらいたい」と思ったものです。入会してバッヂを付けると社会的に一人前になった気がしました。そんな良き時代もありましたよ。

○入会資格は、経営者（全国のライオンの70%）じゃないといけないなんて固定概念は外さないといけません。

○これからの新クラブは、一つの考え方を持った人々によってエクステンションされるオリジナルリティを持ったものが作られています。例えば、同窓会・サークル・町内会etc…定義が広くなりましたね。社長の号令で社内クラブを作った例もあります。

○国際協会の目的には政党・宗派の話をしてはならないとありますが、経済の話とは言及されていないですね。だから節度を保てばビジネスの話も可能です。大いにやるべきだと思います。昔と違って緩やかになりましたよ。

○TVCMは大変良いことだと思う。TVでユネスコを見ても良いと感じるし、CSFで世界三千万人の視力を回復した事など堂々と発表すべきです。「日本から六十億、世界から二百億集めているんですよ」と…現実には地区で新聞に載せてはいるが…過去にTVCMの話はたくさん聞きました。費用の問題だけですね。国際本部でも全てのことに対してPRしなさいと指導しているわけですから…但し、単一クラブのアクティビティがバラバラなので統一性には欠けますね…ボランティアの世界格付けNO・1とCSFですかね、共通しているのは…各クラブが前向きに動いて、それをキャビネットがまとめれば何等障害はありません。

○各地区のガバナーから、若い会員（中堅）に対する接し方（How to）を相談される。だから本当は、ガバナー達もこういう事をやりたいんですよ。今回の経験を地区に持ち帰って皆さんが実践してください。リーダーシップを執って皆に教えてください。

### グローバル会員増強チーム（GMT）について

★なぜ、グローバル会員増強チーム（GMT）が必要なのか？…この新体制は、以下の実現を目的に導入されるものです。

- A 継続性と柔軟性の両立
- B 地域別計画に根差した世界共通目標の設定
- C 実証済みの基盤を織り込んだ新体制の確立
- D 国際協会における会員増強イニシアチブと関連情報の複合地区、地区およびクラブへの提供。同時に、会員動向に関する情報をクラブから地区、地区から複合地区への報告を経てGMTに還元。

### グローバル会員増強チーム(GMT)とMERLチームの連携

★MERL(マール委員会)とは？

MERLとは会員増強(Membership)、エクステンション(Extention)、会員維持(Retention)、指導力育成(Leadership)の委員会の頭文字を取ったものです。

これら四つの委員会の委員長とコーディネーターがチームを組むのが「MERLチーム」です。

MERLチーム・メンバーは団結して会員増強と、世界のライオンズクラブの確固たる基盤を築くために尽力します。

# 20年後のライオンズ像

## ＼(^o^)明るい2029年(^o^)/

○20代の女性会員の割合が40%となる

○若手・中堅・ベテランと年齢別にクラブを編成する(その後、年齢に応じて転籍する)

○クラブ間交流が活発になる(全日本・世界)

○ライオンズのTVCMが放送され、黙っていても会員は増えて行く。

○OLCIFをシカゴから日本に移す

○OLCIF資金を勝手に使える

## (-\_-;) 暗い2029年(・。・)

○単一クラブの会員年齢が65歳から110歳になる(10回以上の会長経験者ばかり)

○クラブがどんどん合併して行く為、RC・ZCの役職が無くなる

○地区単位の合併が起こる





○クラブの負債で、会長個人の資産が差し押さえられる(例会が金銭問題で終始する)

○労力アクティビティが不可能になる





○辞めたもの勝ちの雰囲気になる

\* 「20年後のライオンズ像」は「ライオンズ若手フォーラム」に於いて参加者より発表された意見です。

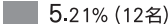



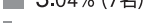
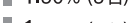

**Q10** あなたは、これからのガバナー選出は、リジョンの垣根を飛び越えて、候補者が地区運営の理念や手段を明確にしたマニフェストを全会員に配布した上で、必要であれば候補者同士による開かれた討論会も行った上で、地区全会員参加による選挙の必要性を感じますか？

はい  41.12% (95名)  
 いいえ  21.21% (49名)  
 どちらともつかない  35.49% (82名)  
 不明  2.16% (5名)




**Q11** 近い将来更なる会員減少とミニクラブ化が予想されますが、あなたはリジョン内においてクラブ再編やエクステンション等の問題を討議する「仮称 ミニクラブ化防止検討委員会」の設置が必要だと思いませんか？






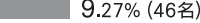

はい  39.39% (91名)  
 いいえ  16.88% (39名)  
 どちらともつかない  28.13% (65名)  
 不明  15.58% (36名)

**Q12** あなたが理想とする単一クラブの会員数をお答えください。





30人未満  5.21% (12名)  
 30以上40人未満  17.39% (40名)  
 40人以上50人未満  40.86% (94名)  
 50人以上70人未満  30.86% (71名)  
 70人以上100人未満  3.04% (7名)  
 100人以上  1.30% (3名)  
 170名以上の国内最大の会員数  1.30% (3名)

**Q13** あなたはクラブ単位のアクティビティの他に、地区全体として地域社会に広い視野で有効な提言活動を展開した方が良いと思いますか？ あれば下記より選択してください（複数回答可）

はい  89.6% (207名)  
 いいえ  3.89% (9名)  
 どちらともつかない  6.49% (15名)

地球温暖化(環境問題)  26.20% (130名)  
 教育問題  19.55% (97名)  
 食料問題  9.67% (48名)  
 少子高齢化問題  12.50% (62名)  
 福祉・医療問題  21.57% (107名)  
 資源問題  9.27% (46名)  
 その他  1.20% (6名)

**Q14** あなたはリジョンに所属する全てのクラブのアクティビティやドナーの年間統計等を知りたいと思いませんか？

はい  50.64% (117名)  
 いいえ  24.67% (57名)  
 どちらともつかない  23.37% (54名)  
 不明  1.29% (3名)

**Q15** ご意見ご要望があれば一言メッセージをお願いいたします。

- ◆ 今後誰がガバナーに相応しいかアンケートを取ってほしい。
- ◆ アンケートは良。内容に関してもっと突っ込んだ質問を… 1~2年経験の若手ライオンによる座談会を企画してみたら？
- ◆ 意識調査は定期的に必要と思います。
- ◆ 変革を!!
- ◆ 早期にミニクラブ化に対する委員会及びクラブ間の交流を開催した方が良いと思います。
- ◆ 今後のPRに期待をしています。微力ながら協力させていただきます。
- ◆ 献眼・献腎運動・骨髄バンク等の移植医療普及啓発活動に温度差があるように思う。
- ◆ ロータリークラブとの差別化を明確にすべく、地域クラスターを採用すべし!!
- ◆ 何故退会者が多いのか？トップの方々で検討・対策・方針等考えているのか？ 具体策が見えません。
- ◆ シニアクラブ(定年退職・年金生活多い)は会員増強が大変です。
- ◆ 堅苦しい例会でなく(明るく楽しい)少し改革する部分と、伝統を守る部分を考え時代に対応したクラブにする必要がある。
- ◆ 前号で香岐クラブのパナーが掲載されていませんでした… 非常に残念です… 督促して欲しい… 少ない人数で頑張っています。
- ◆ ロータリークラブ等との交流希望。
- ◆ 元ガバナーを称える会は如何なものか？
- ◆ LCのPRをもっと積極的に!!
- ◆ 公民館等地域コミュニティの場に会誌等を配布すると良いと思います。
- ◆ 労力アクティビティを増やすと良いと思う。
- ◆ LC会員の自覚をもって、もう少しレベルアップして欲しいと思います。役員はもう少し規則を勉強して欲しいです。
- ◆ 会員増強も大事だと思うが、退会防止を検討されるべきだと思います。
- ◆ 早速アンケート(Q11)して頂きありがとうございます。さすがPR委員長。
- ◆ 福祉をしている実感が欲しい。
- ◆ 先輩方のご努力によりここまで来たと感謝しております。これからも若い世代の方に拡大を考えていかなければならないと思います。
- ◆ (Q12)に関しては言えば、今後エクステンションよりも合体もあり得る。拡大よりも例会が充実する為にも会員数50名以上を目標とすべきでは？
- ◆ (Q11)の件を一日も早く設置するよう!!20名以下のクラブは多数あり。国際協会でしょうか？
- ◆ キャビネットの中にマスコミ対策課を設けてライオンズの事を理解してもらい取り上げてもらう事。
- ◆ 一般の人々にアピールする合同アクティビティの開催。
- ◆ 同じ意見ばかりではなく… 反対意見の対談とか、広く意見を求めたい。
- ◆ 目標の達成の為、年計画を早めにプログラムした方が良いのではと思います。
- ◆ 魅力あるLCとは？会員増強はどうする？なりたがり屋は排除する。
- ◆ 福岡市内に2つのリジョン(2R・4R)があります。他所のリジョンを知らないので交流をすべきである。
- ◆ 会長は出来る環境があれば2年任期にしたらどうか？1年任期は短すぎて理想とする運営は出来にくいと思うが… キャビネットはもっと指導すべきである。何の為のキャビネット？
- ◆ PR委員長頑張ってください。

※お誉めの言葉はありがとうございました。ご批判に付きましては改善の努力をいたしますので宜しくお願いいたします。

### 第3回アンケート回答実績

回答提出26クラブ、850名 有効回答 231名、回答率 27.17%  
 アンケート回収率が50%以上のクラブ

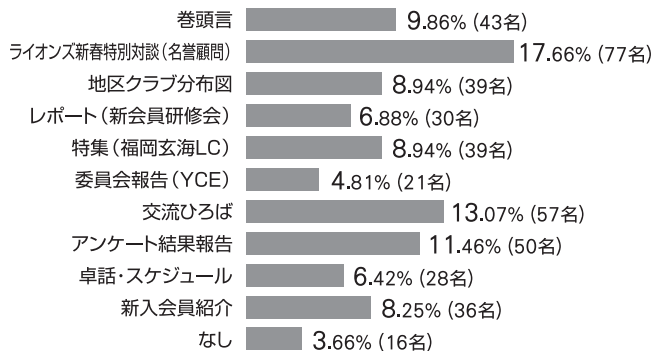
福岡西LC 68%      福岡大名LC 51%  
 福岡シニアLC 52%      香岐LC 50%

次回、4~5月に第4回目を実施いたしますので何卒ご協力お願いいたします。第4回の集計結果は夏号に掲載いたします。

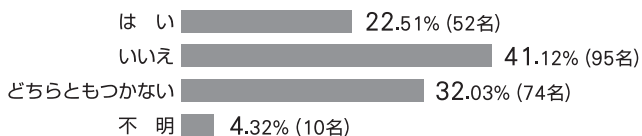
# 第3回 2Rライオンズクラブ会員

# 1,000名 アンケート 意識調査 結果報告

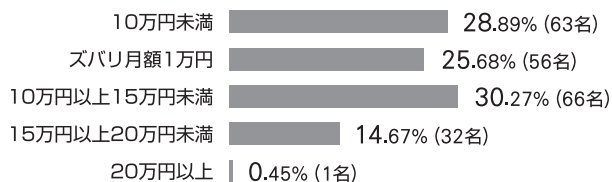
**Q1** 今回の「ふくおか2R冬(元旦)号」で注目したコーナーがあれば下記より選択して番号を回答してください。(複数回答可)



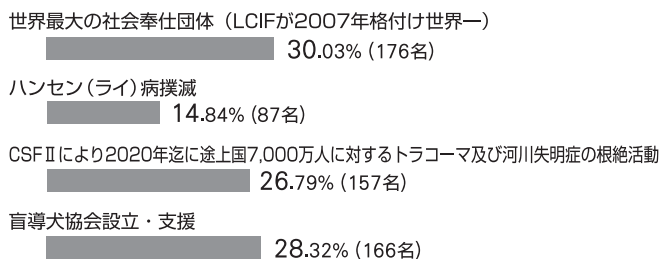
**Q2** あなたは所属するクラブの年会費や登録料(例会会食費)または個人負担として各種アクティビティに対する拠出金を負担に感じていますか?



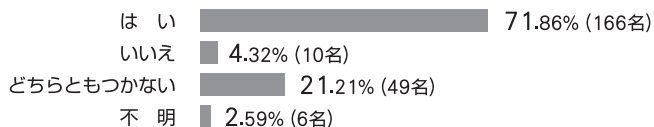
**Q3** あなたが理想とするクラブ年会費(通常例会会食費含む)を下記より選択してください。



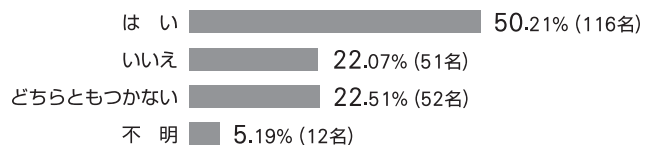
**Q4** あなたは世界的なライオンズの主要アクティビティとして下記の事業をご存じですか?知っている事業があれば下記より選択してください(複数回答可)



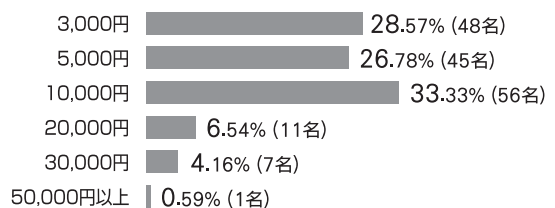
**Q5** あなたはQ4の事業に関してノンライオンの方々にもPRするべきだとは思いませんか?



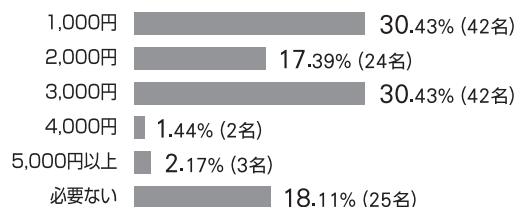
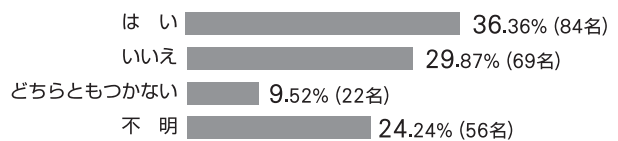
**Q6** あなたはライオンズのPRの一環として地区でTVCMを放送した方が良いと思いませんか? TVCMを放送することにより、地域社会への絶大なPR効果や、会員の誇りを取戻す効果、会員の意識改革、職場や家庭への理解度促進、会員増強等に大きな効果を得られるものと思われませんか?



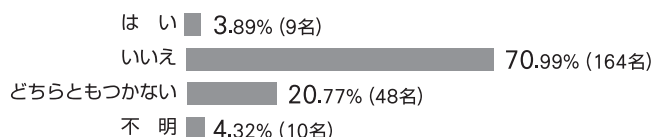
**Q7** あなたは地区でTVCMを放送するとしたら、地区合同PR基金として、クラブ年会費とは別に年間いくら迄の拠出金を支払う事が可能でしょうか?下記より選択してください。



**Q8** あなたは連帯意識や帰属意識高揚の為に、地区全体の会員名簿が必要ですか?必要な方は有償になりますが、妥当と思われる金額を下記より選択してください。



**Q9** あなたは将来地区ガバナーやキャビネット役員・委員に立候補して積極的に地区の変革に着手したいと思いますか?



※詳細は各クラブ事務局まで  
お問い合わせ下さい。

金 FRIDAY	土 SATURDAY
若き弁士達の集い/福岡花 3	40周年記念式典/福岡西 4
700回記念例会/杵岐 10	固城LC訪問/福岡大濠 11
釜山沙下LCとの合同例会 /福岡文化 17	18
24	持出例会(於:呼子・大望閣) /福岡黒田 25
1	2
8	9
15	16
2R・4Z ゾーンレベル諮問委員会(於:杵岐)	
22	あったかホーム招待 チャリティボウリング大会 /福岡西 23
29	30
5	6
12	クラブ主催献血事業 (於:イオンモール福岡ルクル)/若杉福岡 研修旅行/かすや南 13
19	20
26	27

## 卓話ゲスト紹介

### 12月

福岡博愛 卓話・題名 「九州の金融経済概況」  
ゲストスピーカー 日本銀行 福岡支店長 河野圭志 様

福岡誠 卓話・題名 「九州の金融経済概況」  
ゲストスピーカー 日本銀行 福岡支店長 河野圭志 様

福岡シニア 卓話・題名 防犯対策(振込め詐欺)について  
ゲストスピーカー 福岡県警生活安全部 管理官 警視 猿渡智行 様

福岡鶴城 卓話・題名 海と海保の歴史  
ゲストスピーカー 福岡海上保安部長・博多港長 石井和行 様

福岡黎明 卓話・題名 中国古代占い  
ゲストスピーカー 天山愛占 様

### 1月

福岡北 卓話・題名 生まれ変わる博多駅  
ゲストスピーカー JR九州取締役博多駅開発本部長 馬場義文 様

福岡大濠 卓話・題名 環境問題とエコ  
ゲストスピーカー 九州大学 園芸学分野 助教授 比良松道一 博士

福岡黒田 卓話・題名 「更正保護事業について」  
ゲストスピーカー 福岡保護観察所 統括保護観察官 松岡一男 様

福岡NOZ 卓話・題名 随想片々  
ゲストスピーカー L.五條博之

福岡舞鶴 卓話・題名 「原点 ～これからのライオンズム」  
ゲストスピーカー L.小林明

福岡花 卓話・題名 「コミュニケーション スゴロク」  
ゲストスピーカー L.濱砂圭子

4Z・5LC合同 卓話・題名 「なせば成る」  
ゲストスピーカー 隆照寺住職 佐藤弘隆 様

### 2月

福岡大濠 卓話・題名 今さら聞けないマナーのお話  
ゲストスピーカー 全日本作法会 家督 囊毛彩 様

福岡黒田 卓話・題名 ラジオの魅力  
ゲストスピーカー エフエム福岡・アナウンサー こはまもとこ 様

福岡大樹 卓話・題名 組織活性化の5原則  
ゲストスピーカー L.大隈信夫

福岡舞鶴 卓話・題名 ライオンズクラブの運営についての愚見  
ゲストスピーカー L.岩崎光太郎

卓話・題名 ライオンズ サクセスストーリー  
ゲストスピーカー 楠センターコーポレーション 代表取締役 太田英男 様

福岡玄海 卓話・題名 日本とアメリカのプロゴルファーの違い  
ゲストスピーカー プラウドゴルフ 代表 住吉健二 様

福岡花 卓話・題名 ファッションについて  
ゲストスピーカー L.高田律子

福岡フィフティ 卓話・題名 この金融不況をどうのりきるか  
ゲストスピーカー メディアファイブ(株) 監査役 的野雅一 様

花鶴福岡 卓話・題名 「現在の雇用情勢について」  
ゲストスピーカー 社会保険労務士 中村雅和 様



## FUKUOKA 2R CLUB SCHEDULE

	日 SUNDAY	月 MONDAY	火 TUESDAY	水 WEDNESDAY	木 THURSDAY
4 A P R I L				花見例会/福岡平和 1	2
	5	6	花見例会/福岡ベイシティ21 花見例会/福岡筑前	クラブ献血(於:サンリブ古賀店) /花鶴福岡 観桜例会/若杉福岡 8	9
	12	13	14	15	第21回チャリティゴルフ大会 (於:福岡レイクサイドカントリークラブ) /かすや南 花見例会/福岡鶴城 16
	337-A地区第55回年次大会 (於:田川文化センター) 19	20	21	チャリティゴルフ大会 (於:筑紫ヶ丘G.C.)/福岡赤坂 22	23
	26	27	28	第31回ライオンズ旗争奪少年剣道大会 (於:古賀市健康文化施設「クロスバルこが」) /花鶴福岡 29	30
	5 M A Y	3	4	5	6
10		11	12	13	14
17		18	19	20	21
24		25	26	27	28
ラブアース・クリーンアップ2009 /福岡平和・福岡大名 31		1	2	新旧理事・新旧正副委員長 引継会(於:快生館)/花鶴福岡 3	4
6 J U N E		337複合地区第55回年次大会 (於:沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ) 7	台北市龍山國際獅子会140周年記念式典 (於:台北市)/若杉福岡 8	9	10
	14	15	16	17	18
	21	22	23	24	25
	28	29	30	6月予定 CN記念例会/福岡シニア	

# 新入会員紹介 [12月.1月.2月]

**福岡NOZLC**



**中島 信之**  
なかしま のぶゆき (43)

有限会社中島建具  
[木製建具家具製造販売]  
H21.2.10入会  
スポンサー: L.福地 周一  
■自己PR

自分自身を変えたいという思いがあり、いい出会いを作りたいと思います。諸先輩方の指導の上、更なる向上を目指して頑張りたいと思っております。

**福岡NOZLC**



**久芳 恵子**  
くろき けいこ (56)

NPO高齢者グッドケアサポートセンター  
[介護事業・調剤薬局]  
H21.1.13入会  
スポンサー: L.鳥谷 哲弘  
■自己PR

H21.1 転入。LCに入会して6年半です。今回福祉事業に力を注ぎたく転入しました。福岡NOZLCの皆様と共に地域社会に貢献できる様頑張りたいと思います。

**福岡城東LC**



**一宮 誉**  
いちみや ほまれ (37)

(株)三矢企画  
[経営コンサルタント]  
H20.12.1入会  
スポンサー: L.太田 健一  
■自己PR

宮崎延岡の田舎者が、縁がありまして福岡博多に来まして8年程が経ちました。右も左も分からない若輩者ですが、社会の一員として足跡を残して行こうと思います。

**福岡城東LC**



**梁瀬 義行**  
やなせ よしゆき (57)

(株)ヤナセファイテック  
[消防設備等の施工・保守点検]  
H20.12.1入会  
スポンサー: L.入江 隆生  
■自己PR

長崎出身で、単身博多へ来て3年が過ぎました。趣味は一人でふらりと出かける旅行ですが、最近は男料理に凝っています。今後ともよろしくお願い致します。

**福岡誠LC**



**井上 修造**  
いのうえ しゅうぞう (52)

名通エンジニアリング(株)  
[コンサル]  
H20.12.24入会  
スポンサー: L.亀岡 正茂  
■自己PR

よろしく申し上げます。

**福岡花LC**



**伊原由美子**  
いはら ゆみこ (55)

(株)アンサーンプル  
[旅行業]  
H21.2.28入会  
スポンサー: L.山道チエ子  
■自己PR

よろしくお願い致します。

**福岡花LC**



**佐藤 光江**  
さとう みつえ (72)

三光住宅  
[不動産業]  
H21.2.28入会  
スポンサー: L.高津 英子  
■自己PR

今回、福岡花ライオンズクラブに入会させて頂きました佐藤です。ゴルフと歌が大好きな新人です。これからどうぞよろしくお願い致します。

**福岡花LC**



**高倉 久子**  
たかぐら ひさこ (69)

福高観光開発(株)  
[ゴルフ場経営]  
H21.2.28入会  
スポンサー: L.松井 和子  
■自己PR

結婚して早五十年。家族の為自分の為だけに無我夢中でした。今後は世の為に少しでもお役に立てる私の人生にと心から願い、福岡花ライオンズクラブに入会させて頂きました。

**福岡花LC**



**村上喜久子**  
むらかみ きくこ (58)

H21.2.28入会  
スポンサー: L.高津 英子  
■自己PR

よろしくお願い致します。

**福岡赤坂LC**



**竹下 典子**  
たけした のりこ (29)

クラブロマネ  
[飲食業]  
H21.2.12入会  
スポンサー: L.平野 拓矢  
■自己PR

よろしくお願い致します。

**福岡文化LC**



**林田 俊二**  
はやしだ しゅんじ (51)

(株)建築企画コム・フォレスト  
[建築の企画及び設計業務]  
H21.1.8入会  
スポンサー: L.許斐 克志  
■自己PR

建築設計の仕事に携わり30年程たちました。今では「お客様に喜んで頂くこと」を最終目標にして、お手伝いをさせて頂いております。スタッフ、子供(2才半)の成長が心の支えです。

**福岡大名LC**



**尾崎 剣**  
おざき けん (34)

(株)昭和マーケティングシステム  
[IT]  
H21.2.20入会  
スポンサー: L.井上 清貴  
■自己PR

よろしく申し上げます。

**若杉福岡LC**



**久芳 菊司**  
くろき きくし (59)

久山町役場  
[久山町町長]  
H21.1.21入会  
スポンサー: L.久芳 国昭  
■自己PR

よろしく申し上げます。

**宗像LC**



**白木源治朗**  
しらき げんじろう (29)

三九技工(有)  
[倉庫業・製造業]  
H20.12.18入会  
スポンサー: L.近藤 幸成  
■自己PR

建設資材卸売最大手である、岡三リビック(株)の西日本エリアの製造を手掛けております。又、日本国の発展になるべく日々、研鑽しております。ブログ「我が構想」。





歴史を編集する行為は重要だと思  
います。第一にそれは、現代に生きる  
我々にとっての教訓であり、誇りに  
繋がるからです。編集とは少々大袈  
褌ですが、今回は地区の“歴史を知る”  
三人のライオンに取材し、先輩方の  
ドラマチックな活躍に胸を躍らせま  
した。特にL.和田耕司の、膨大なフ  
ィルムや写真の記録は貴重な財産だ  
と思いました。今後も機会があれば、  
もっと沢山のライオンが参加して“歴  
史の語り部”となっていたきたい  
ものです。

それから皆さんにお願いですが『1,000  
名アンケート』は三回目となりました  
が、徐々に回答数は減少してきました。  
しかしながらこれは、皆さんの意見

を訴える事が出来る数少ないツール  
でありますので(次回は最後ですから)  
再度ご協力をお願いしたいと思います。

今更ですが、今期リジョン合同誌  
の編集ポイントは以下の4点に集約  
されます。

- ①全員が参加出来る(意見反映・興味・  
関心) → 『1,000名アンケート』
- ②記録に残る(活動の証・保存) → 『国際・  
日本・複合・準地区役員/委員総覧』  
『名誉顧問対談』等
- ③歴史認識(教訓・誇り・帰属意識)  
→ 『ライオンズの歴史を知る』
- ④提言発表(夢・希望) → 夏号に乞  
うご期待  
努めてこれ等を意識して参りました  
が如何なものでしょうか? 次回は“豊

かなライオンズ・ライフ”について  
企画を考えたいと思います。提言を  
お持ちの方はできればドラステック  
なものを…是非発表していただき  
たいと思います。

最後に謝辞を述べさせていただきます。  
前回同様各クラブのPR委員長  
の皆さんと合同事務局の職員の方々  
に厚く御礼を申し上げます。又今回も徹夜で殆どの原稿を執筆され、  
更に私の拙い文章を添削していただき、  
適切な助言を授けてくださいました  
福岡舞鶴LCの橋山義博PR委員長  
にも重ねて感謝を捧げます。皆さん  
ありがとうございました。

2R・3Z 福岡大名ライオンズクラブ  
PR・IT・ザラタ編集委員 L.徳永修一郎

発行/2R・PR委員会 TEL092-771-5783 FAX092-771-9676  
〒810-0001 福岡市中央区天神 3-15-24 三天第一ビル3F(ライオンズクラブ2R合同事務局)

印刷/末松印刷株式会社 TEL092-411-6131 FAX092-411-6134 E-mail s-pri.co@ymt.bbiq.jp  
〒812-0892 福岡市博多区東那珂2-4-36



**YAGI** Yagi & Co., Ltd.

## 八木住宅合資会社

取締役 会長 八木 誠治

福岡市中央区渡辺通5丁目8番19号マイスタア5ビル 301号室  
TEL 092-761-2277 FAX 092-771-1717

不動産の情報は  
おまかせください!

**SANKO ESTATE**

- オフィス仲介サービス
- ビルマネジメントサービス
- コンサルティングサービス
- 売買仲介サービス

**三幸エステート株式会社**

〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前2-20-1  
大博多ビル9F

TEL:092-473-6011/FAX092-451-4191  
E-Mail:sanko@web-sanko.com  
WEB:http://i-toki.com/sanko/index.html



## メディカル プロGRESS

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-10-4 MASビル3F  
TEL (092)414-7273 FAX (092)414-7270  
携帯電話 (090)3074-3390  
<http://www.mp-ltd.jp> E-mail:yamada@mp-ltd.jp

医療機器部 山田 修 (福岡赤坂LC)



# Com Forest

株式会社 建築企画 コム・フォレスト

あなたの夢は何ですか？

- 私どもが皆様に提案、提供する「空間」は、そこに集う人々の「夢」を育み、実現させる「気の空間」です。あなたの「夢」を実現させましょう。

〒810-0801 福岡市博多区中洲5-5-13 KDC福岡ビル4F  
TEL 092-263-7766 <http://www.comforest.co.jp>

代表取締役 林田俊二



TANI ACCOUNTING OFFICE

## 谷和也税理士事務所

### 税 理 士 谷 和 也

Tani Kazuya

〒815-0001  
福岡市南区五十川2-11-21-401  
TEL 092-586-2700  
FAX 092-586-2707

メールアドレス [tanizeirishi@jcom.home.ne.jp](mailto:tanizeirishi@jcom.home.ne.jp)  
<http://www.wakuwakukaikei.com/>



印刷だけでなく  
小難しい事から面倒臭い事まで  
何なりとご相談下さい。  
ヒントになる事を  
ご提案したい当社です。

### 有限会社 森田印刷所

代表取締役 森田 孝 (福岡平和LC)  
〒810-0074 福岡市中央区大手門2-1-21  
TEL 092-721-5223・FAX 092-713-6677  
E-mail [moritapt@lily.ocn.ne.jp](mailto:moritapt@lily.ocn.ne.jp)



### 皆様の安心にお応えする警備全般

### 全国警備業協会加盟

# 新日警サービス株式会社

福岡黎明ライオンズクラブ  
代表取締役 鴨林 広憲

福岡市中央区桜坂2-1-5 新日警ビル 〒810-0024  
TEL 092-734-8121 FAX 092-751-8471 <http://www.shin-nikkei.com>

## 花房靖幸税理士事務所

“他職種との連携プレーでよろず相談承っています”

所長 花房 靖幸 税理士 梅山 聡

併設(有)ビジネスブレーションサービス

〒810-0011 福岡市中央区高砂2丁目7番2号 TEL (092)526-1555 FAX (092)521-0555

# みらいサポート

日本生命保険相互会社 粕屋中央営業部

〒811-2307 糟屋郡粕屋町原町2丁目1-27

TEL (092) 938-2308

若杉福岡ライオンズクラブ L. 藪内 アヤ子



KAWAKAMI

## 総合建設業

〒811-5133 長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触722番地

### 株式会社 川上組

代表取締役 川上安孝 (壱岐ライオンズクラブ)

TEL (0920)47-0364 FAX (0920)47-5289

## 谷口税務会計事務所

税理士 谷口一馬

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目10番12号ハイラーク205

TEL (092) 413-0350番 FAX (092) 413-0357番



## かすや南ライオンズクラブ

〒811-2114

福岡県粕屋郡須恵町上須恵1190-1

TEL (092)933-3111

FAX (092)933-3111



## 有限会社 ミックエージェンシー

代表取締役 水田雅樹  
MASAKI MIZUTA

〒812-0029 福岡市博多区古門戸町6-21 日宝サンセーヌ古門戸201  
TEL 092-281-1260 FAX 092-281-1680 携帯 090-3195-2667  
E-mail info@fp-mic.com http://www.fp-mic.com/

〈取扱保険会社〉

AIU 保険会社

損保ジャパン

大同生命

アクサ生命

ソニー生命

損保ジャパンひまわり生命

アリコジャパン



損害保険特級(一般)資格 2級ファイナンシャル・プランニング技能士(資産設計提案業務)  
日本ファイナンシャル・プランナーズ協会会員 福岡県損害保険代理業協会福岡中央支部会員

## 高良印刷

代表者 高良啓己 (福岡西LC)

〒810-0075 福岡市中央区港2丁目4番1号 TEL 092-771-7415 FAX 092-771-1085

「ライオンズクラブはその精神において  
企業論理とまったく相反する団体だ  
だからこそ企業人はすすんでライオンズクラブに入会せよ」

「金もうけにならんことに打ちこむバカなやつが  
一人や二人いたっていいんじゃないかな  
その方がこの世の中、明るくなっていいのじゃないかな」

L.貝島義之



「国際協会も六十数年を経過してその在り方を考えている時です  
六十年前の思想をそのまま持ち続けている組織が今どこにありますか  
世界が変わってきたのにライオンズクラブは  
六十年前のそのままを今日でも守り続けているのです  
このままではいけない  
変えなければならぬものは変えて行かなければなりません」

L.村上 薫